

The background is a collage of various images related to engineering and the University of Tokyo, including a crane, a building entrance, a gate, a microscope, a satellite, and a network diagram. The text is overlaid on this collage.

東京大学

工学系研究科

工学部概要

School of Engineering
The University of Tokyo

2022

目 次

1. 研究科長・学部長挨拶	1
2. 沿革	2
3. 組織	4
4. 教職員数	19
5. 学生数等	20
6. 国際交流	23
7. 研究活動	27
8. 財政等	30
9. 広報・情報発信	31

電機系教員室
Professor Rooms,
Dept. of EEICE

電機系研究室
Laboratories,
Dept. of EEICE

情報工学研究室
Laboratories, Dept. of
Mechano-Informatics

機械工学教員室
Professor Rooms, Dept. of
Mechanical Engineering

機械工学研究室
Laboratories, Dept. of
Mechanical Engineering

機械工学研究室
Laboratories, Dept. of
Mechanical Engineering

電気系CAD室・製図板室
CAD and Drawing Boards,
Dept. of EEICE

情報学環研究室
Laboratories,
Graduate school of
Interdisciplinary
Information Studies

機械情報工学教員室
Professor Rooms, Dept. of
Mechano-Informatics
機械情報工学研究室
Laboratories, Dept. of
Mechano-Informatics

工学・情報理工学図書館
事務室 (資料)

241号 講義室
Lecture room 241

242号 講義室
Lecture room 242

243号 講義室
Lecture room 243

244号 講義室
Lecture room 244

電気系実験室
Experimental Labs,
Dept. of EEICE

電気系学生控室

1. 研究科長・学部長挨拶



「工学は、夢を描き、未来をつくる」

工学は、人類の福祉、健康、安心・安全のために新しいモノやコトをつくる学問体系です。東京大学工学部は、1886年に帝国大学工科大学として誕生して以来、時代とともに変化する社会の要請に応えるため、常にダイナミックに変化してきました。

現代社会が直面する問題は、差別や貧困、気候変動、社会の超高齢化、そしてウイルス感染症など複雑さと困難さを増しています。私たちは、サステナビリティを第一に考え、グローバルコモンズを守り育てるとともに、限りある地球資源を大切に、環境に負荷を与えない社会への変革を先導します。同時に、人間の多様性を尊重し、一人ひとりの個性を活かすインクルーシブな社会の実現を目指します。

工学が真に人類の福祉へ貢献することを目指し、工学系研究科は18専攻・13附属施設（2機構、11センター）、工学部は16学科で構成され、約580名の教員と約220名の事務・技術職員が所属し、日夜研究・教育に励んでいます。また、約2,100名の学部学生、約2,300名の修士課程学生、約1,300名の博士課程学生が工学を学び、研究活動を進めています。

工学は、基礎科学を追究する分野、追究して得た知識を活用して社会実装を主導する分野、新しい融合領域を開拓する分野など様々な分野で構成されています。私たちは、ダイバーシティ推進・若手支援・知識融合を主軸として、国際的に卓越した工学研究を推進し、知識集約型社会における価値創造に貢献します。

社会の要請に応えるため、伝統と革新のバランスがとれた工学教育により、深い専門知識・アントレプレナーシップ・公共的かつ国際的な視野を涵養し、イノベーションを先導する知のプロフェッショナルを育成します。eラーニングやアクティブ・ラーニングの手法を取り込むことによって、学びたいときに学びたい科目をバランスよく履修できる教育環境も整備しています。また、社会に出てからも常に学び続けることが必要となっている現在の状況を踏まえ、リカレント教育、ライフ・ロング・ラーニング、社会人の学びを支える教育プログラムも充実させ、社会と大学の新たな関係を構築します。

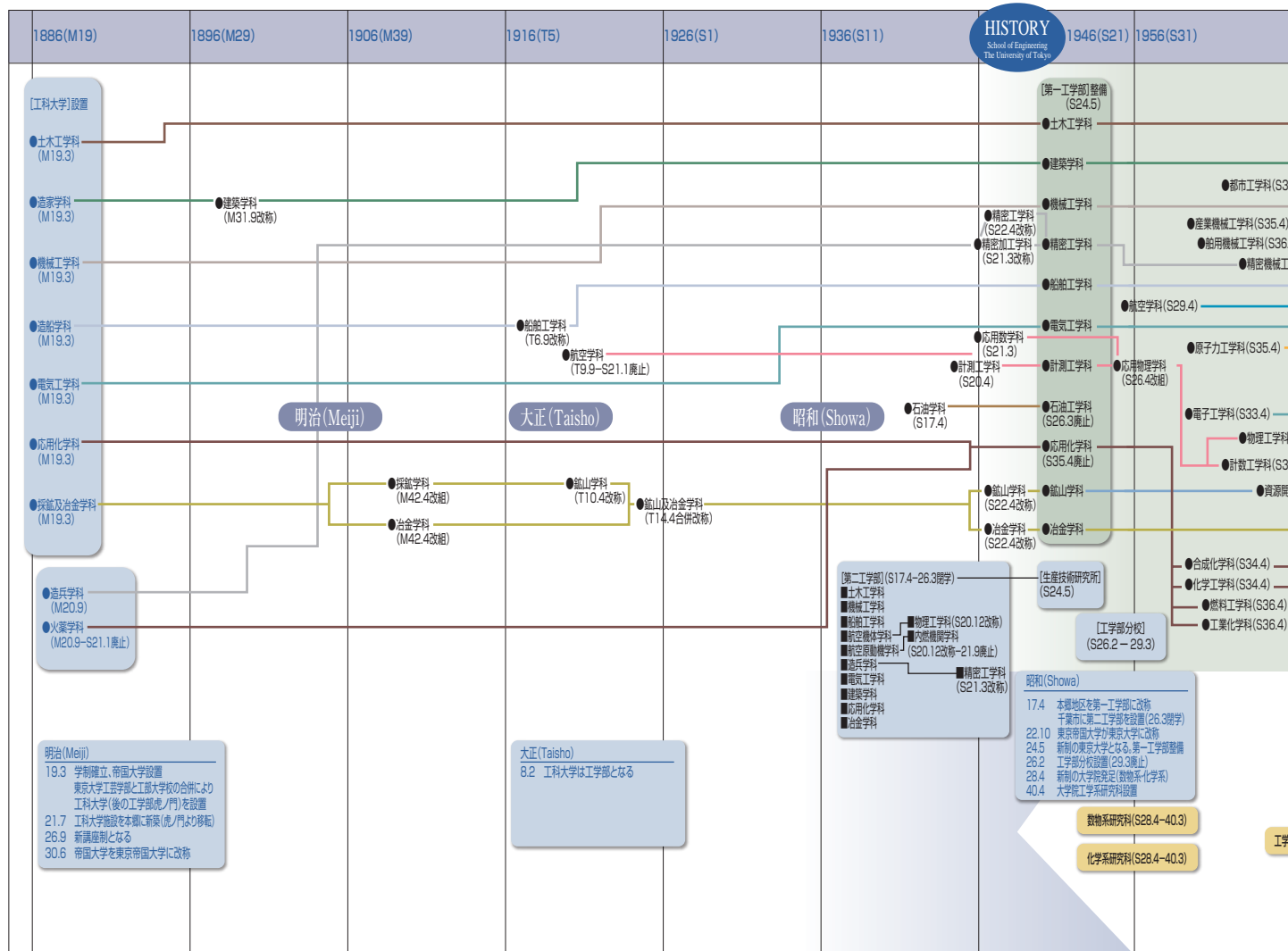
これらの研究・教育を通じた様々な社会貢献によって、未来の社会を切り拓いていくことが工学系研究科・工学部の担う社会的な責務です。社会ニーズをスピーディーに捉えつつ、アカデミアでしかできない多様な時間軸の大きな挑戦を実行できるように、研究教育基盤の強化・財源の多元化・規則の現代化を推進していきます。

工学系研究科・工学部は、皆さんとともに、未来を切り拓く最前線を担っていきます。

東京大学大学院工学系研究科長・工学部長 染谷 隆夫

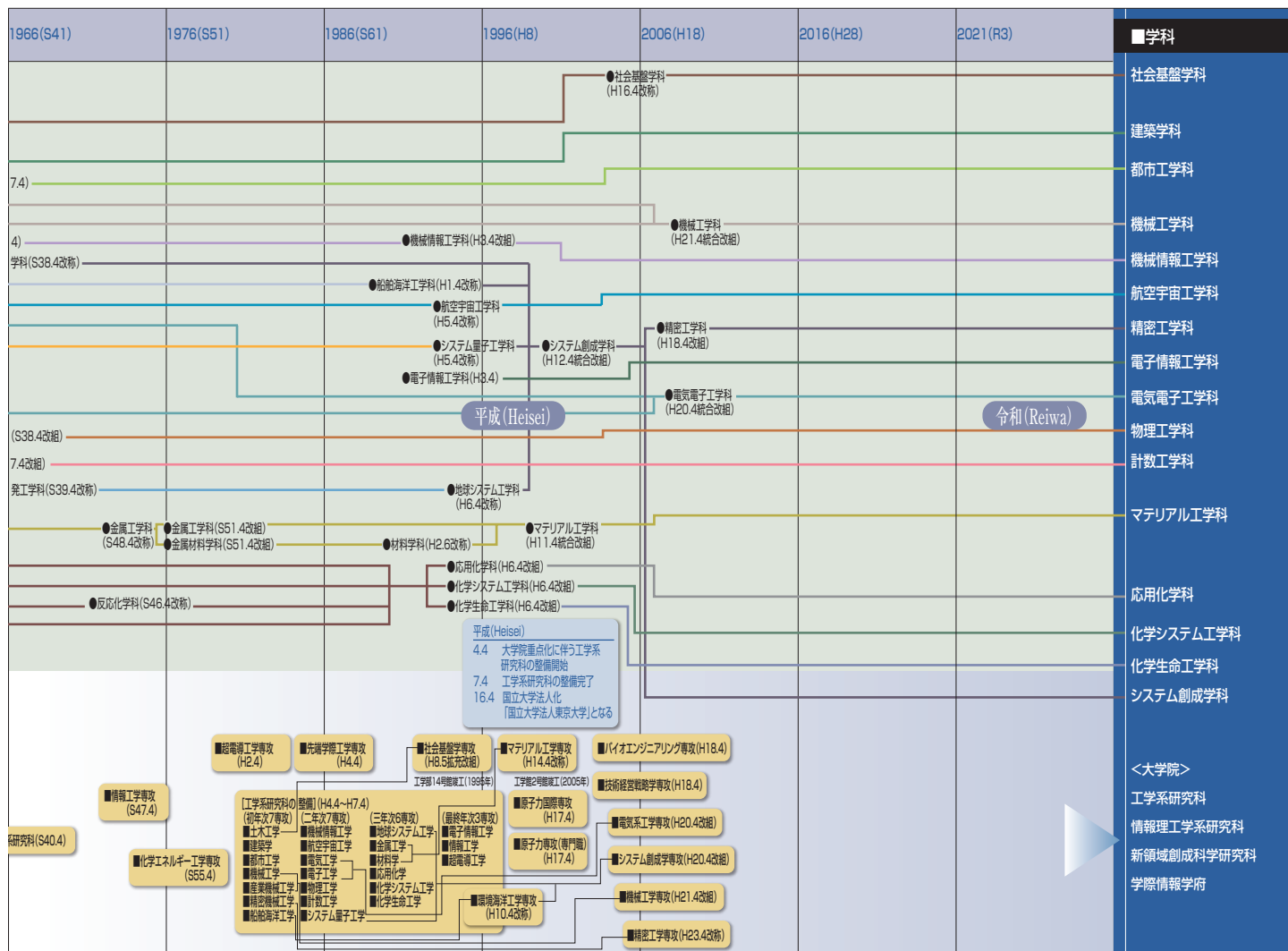
2. 沿革

(1) 学科・専攻の変遷



(2) 沿革

明治 19.3	帝国大学設置 東京大学工学部と工科大学校の合併により、工科大学を設置（7学科）	14.1	附属総合試験所を改組し、総合研究機構を設置
30.6	帝国大学を東京帝国大学に改称	14.4	マテリアル工学専攻設置
大正 8.2	工科大学は工学部となる。	16.3	附属総合試験所廃止
昭和 14.10	附属総合試験所設置	16.4	国立大学法人化、「国立大学法人東京大学」となる。
17.4	本郷地区を第一工学部に改称 千葉市に第二工学部を設置	17.3	附属原子力工学研究施設廃止
22.10	東京帝国大学が東京大学に改称	17.4	原子力国際専攻、原子力専攻（専門職）設置 工学教育推進機構設置 超伝導工学専攻の廃止
24.5	新制の東京大学となる。（11学科） 第二工学部を母体として生産技術研究所を設置	18.4	精密工学科、バイオエンジニアリング専攻、技術経営 戦略学専攻設置（18学科 22専攻）
26.2	工学部分校設置	20.4	エネルギー・資源フロンティアセンター設置 電気電子工学科、システム創成学専攻及び電気系工学 専攻を設置（統合改組）（17学科 19専攻）
26.3	第二工学部閉学	21.4	機械工学科、機械工学専攻を設置（機械、産機を統合 改組）（16学科 18専攻）
28.4	新制の大学院発足	22.4	光量子科学研究センター設置
29.3	工学部分校廃止	23.4	工学教育推進機構を廃止し、国際工学教育推進機構を 設置
40.4	大学院工学系研究科設置	24.4	医療福祉工学開発評価研究センター設置
42.6	附属原子力工学研究施設設置	25.4	レジリエンス工学研究センター設置
50.4	工業高等専門学校への編入制度開始	28.4	スピントロニクス学術連携研究教育センター設置
56.4	附属境界領域研究施設設置	31.4	人工物工学研究センター設置
63.3	同上 廃止	令和 1.7	水環境制御研究センターを改組し、水環境工学研究セ ンターを設置
平成 4.4	大学院重点化に伴う工学系研究科の整備開始	1.10	システムデザイン研究センター設置
7.4	同上 整備完了 （21学科 24専攻（83大講座））	3.4	キャンパス・マネジメント研究センター設置
11.4	マテリアル工学科設置	4.4	ナノシステム集積センター設置
12.4	水環境制御研究センター設置、 システム創成学専攻設置（統合改組）		
13.4	量子相エレクトロニクス研究センター設置		



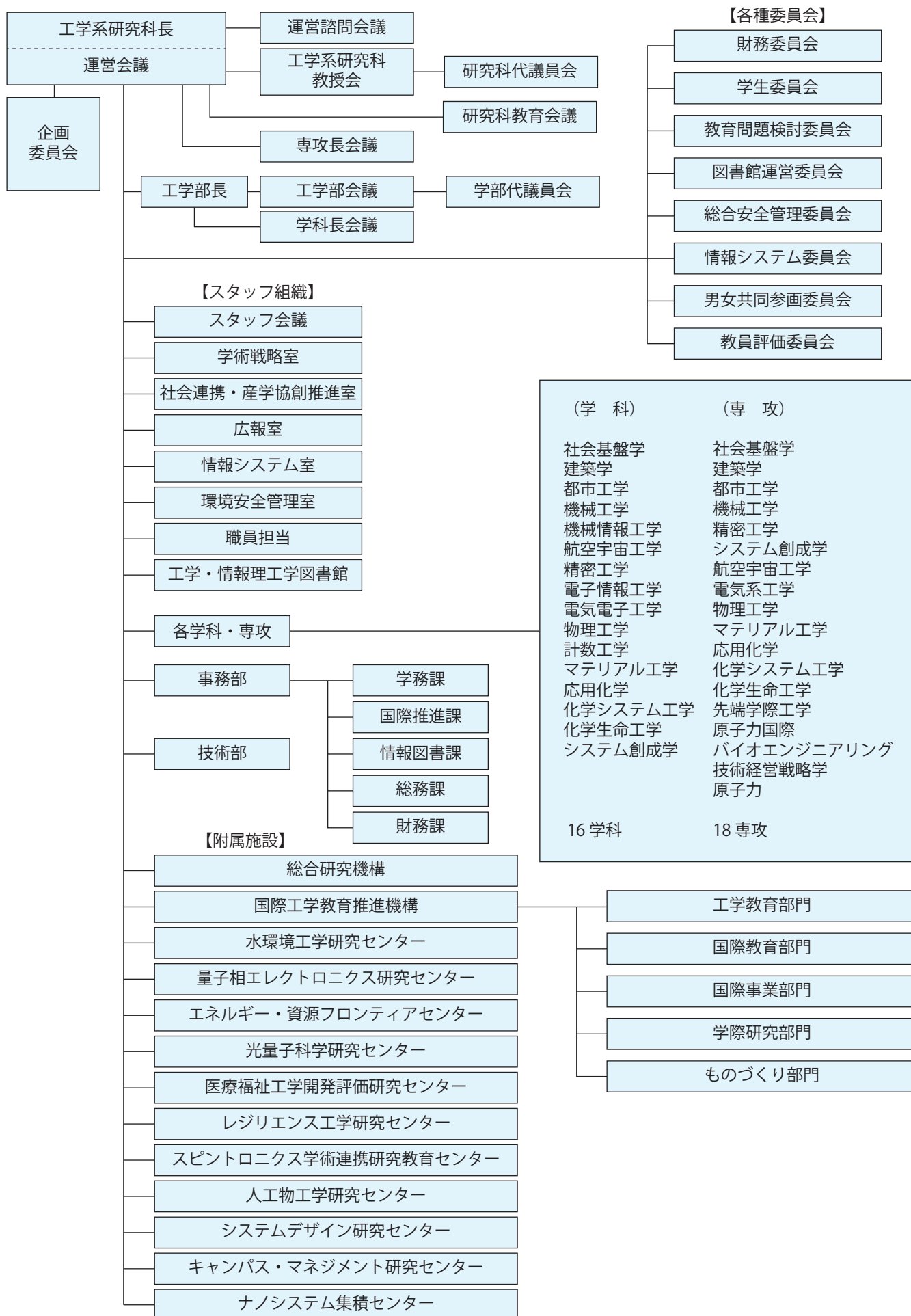
(3) 歴代工学部長・工学系研究科長

名称	氏名	任期
工科大学長	古市公威	明治19.5.1 ~ 21.11.27
工科大学長 (事務取扱)	渡邊洪基	21.11.28 ~ 22.10.10
工科大学長	古市公威	22.10.11 ~ 31.7.18
〃	辰野金吾	31.7.19 ~ 35.12.28
〃	渡邊	35.12.29 ~ 大正7.11.25
工科大学長	寺野精一	大正7.11.26 ~ 8.2.5
工学部長	〃	8.2.6 ~ 9.6.30
工学部長	塚本靖	9.7.1 ~ 12.7.5
〃	俵國一	12.7.6 ~ 15.7.9
〃	塚本靖	15.7.10 ~ 昭和4.3.31
〃	洪沢元治	昭和4.4.1 ~ 7.3.30
〃	田中芳雄	7.3.31 ~ 10.3.31
〃	平賀譲	10.4.1 ~ 13.3.31
〃	丹羽重光	13.4.1 ~ 16.3.31
〃	内田祥三	16.4.1 ~ 18.3.11
第二工学部長	瀬藤象二	17.4.1 ~ 20.3.31
第一工学部長	佐野秀之助	18.3.12 ~ 21.3.11
第二工学部長	井口常雄	20.4.1 ~ 23.3.31
第一工学部長	亀山直人	21.3.12 ~ 24.3.11
第二工学部長	瀬藤象二	23.4.1 ~ 26.3.31
第一工学部長	大山松次郎	24.3.12 ~ 27.3.11
工学部長	〃	26.4.1 ~ 27.3.11
〃	青山秀三郎	27.3.12 ~ 29.3.31
〃	中西不二夫	29.3.31 ~ 31.3.31
〃	山縣昌夫	31.4.1 ~ 33.3.30
〃	古賀逸策	33.3.31 ~ 35.3.30
〃	武藤清	35.3.31 ~ 37.3.30
〃	吉識雅夫	37.3.31 ~ 39.3.30
〃	阪本捷房	39.3.31 ~ 41.3.30
工学部長	仲威雄	41.3.31 ~ 43.3.31

名称	氏名	任期
工学部長	最上武雄	43.4.1 ~ 43.11.4
〃	向坊隆	43.11.5 ~ 44.3.31
〃	木原博	44.4.1 ~ 46.3.31
〃	菅野猛	46.4.1 ~ 48.3.31
〃	岡村總吾	48.4.1 ~ 50.3.31
〃	近藤次郎	50.4.1 ~ 52.3.31
〃	梅村魁	52.4.1 ~ 53.4.1
〃	藤井澄二	53.4.2 ~ 55.4.1
〃	久松敬弘	55.4.2 ~ 57.4.1
〃	南雲仁一	57.4.2 ~ 59.4.1
〃	堀川清司	59.4.2 ~ 61.4.1
〃	猪瀬博	61.4.2 ~ 62.3.31
〃	伊理正夫	62.4.1 ~ 平成1.3.31
〃	吉川弘之	平成1.4.1 ~ 3.3.31
〃	菅野卓雄	3.4.1 ~ 4.3.31
〃	岡村弘之	4.4.1 ~ 6.3.31
工学系研究科長・工学部長	合志陽一	6.4.1 ~ 8.3.31
〃	岡村甫	8.4.1 ~ 10.3.31
〃	中島尚正	10.4.1 ~ 12.3.31
〃	小宮山宏	12.4.1 ~ 14.3.31
〃	大垣眞一郎	14.4.1 ~ 16.3.31
〃	平尾公彦	16.4.1 ~ 18.3.31
〃	松本洋一郎	18.4.1 ~ 20.3.31
〃	保立和夫	20.4.1 ~ 22.3.31
〃	北森武彦	22.4.1 ~ 24.3.31
〃	原田昇	24.4.1 ~ 26.3.31
〃	光石衛	26.4.1 ~ 29.3.31
〃	大久保達也	29.4.1 ~ 令和2.3.31
〃	染谷隆夫	令和2.4.1 ~

3. 組織

(1) 組織図



(2) 役職者一覧 (2022年度)

工学系研究科長・工学部長	
	染谷 隆夫
副研究科長	
	加藤 泰浩
	鈴木 雄二
	霜垣 幸浩
(事務部長)	櫻井 明
研究科長特別補佐	
	石田 哲也
	熊田亜紀子
	求 幸年
	津本 浩平
専攻長	
社会基盤学専攻	布施 孝志
建築学専攻	佐久間哲哉
都市工学専攻	藤田 壮
機械工学専攻	高木 周
精密工学専攻	伊藤 寿浩
システム創成学専攻	宮本 英昭
航空宇宙工学専攻	寺本 進
電気系工学専攻	竹内 健
物理工学専攻	岩佐 義宏
マテリアル工学専攻	阿部 英司
応用化学専攻	山口 和也
化学システム工学専攻	高鍋 和広
化学生命工学専攻	山東 信介
先端学際工学専攻	矢入 健久
原子力国際専攻	石川 顕一
バイオエンジニアリング専攻	酒井 康行
技術経営戦略学専攻	吉田 好邦
原子力専攻	阿部 弘亨
学科長	
社会基盤学科	布施 孝志
建築学科	佐久間哲哉
都市工学科	藤田 壮
機械工学科	泉 聡志
機械情報工学科	深尾 隆則
航空宇宙工学科	寺本 進
精密工学科	伊藤 寿浩
電子情報工学科	竹内 健
電気電子工学科	熊田亜紀子
物理工学科	岩佐 義宏
計数工学科	高木 剛
マテリアル工学科	阿部 英司
応用化学科	山口 和也
化学システム工学科	高鍋 和広
化学生命工学科	山東 信介
システム創成学科	鈴木 克幸

附属施設長	
総合研究機構	柴田 直哉
国際工学教育推進機構	鈴木 雄二
水環境工学研究センター	滝沢 智
量子相エレクトロニクス研究センター	石坂 香子
エネルギー・資源フロンティアセンター	増田 昌敬
光量子科学研究センター	小芦 雅斗
医療福祉工学開発評価研究センター	津本 浩平
レジリエンス工学研究センター	藤井 康正
スピントロニクス学術連携研究教育センター	田中 雅明
人工物工学研究センター	浅間 一
システムデザイン研究センター	黒田 忠広
キャンパス・マネジメント研究センター	千葉 学
ナノシステム集積センター	高橋 浩之
事務部	
事務部長	櫻井 明
学務課長	朝原 淳子
国際推進課長	角田亜紀子
情報図書課長	平田 義郎
総務課長	仁藤 彰郎
財務課長	部 正規
情報理工学系企画調整担当課長	山田 健

(3) 専攻

社会基盤学専攻

社会基盤学専攻は、国や地域における自然や歴史、文化、さらに国際的な視野に立ち、社会基盤の整備や運営を先導できる人材の育成を目的とする。社会基盤学の領域は地盤、構造物、材料、水文、河川、海岸、環境、エネルギー、防災(地震・豪雨・台風など)、国土計画、景観、都市、交通、マネジメント、国際など多岐にわたり、私たちの安全・安心で豊かな社会・生活を支える。ウイルス感染症を含む未曾有の災害や社会の変化に対応しながら、社会基盤学のあり方を探求し、その知識や技術の体系化と革新に資する高度な研究を進めること、さらにそれを社会や教育へ還元することで、我が国および世界の持続的な発展に大きく貢献することを目指す。



日本語版HP



英語版HP



コンクリート実験の風景

建築学専攻

建築学専攻は、科学的・工学的・技術的領域から、人文的・芸術的・社会的領域に至る広汎な分野の知識を統合し、新時代の成熟社会にふさわしい空間・環境を形成してゆくための新しい学問体系の構築を目指すとともに、建築に係わる研究、開発、計画、設計、生産、経営、政策提案などを、責任を持って担うことのできる人材を育成する。また、新たな価値の創造と技術革新に繋がる研究へと世界的スケールで積極果敢に挑戦し、人類社会の持続と発展に貢献することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



建築模型を囲んでのエスキース・クリティーク

都市工学専攻

都市工学専攻は、都市工学に関する体系的な知識とその応用技術を身に付け、都市計画、都市デザイン、都市交通計画、都市解析、都市環境工学、都市水システム、国際都市環境、環境デザイン、都市マネジメントなどに関する専門家として活躍できる人材を育成する。また、地域の気候風土・社会文化の多様性を踏まえ、グローバルな視点から国土及び地域社会の健全で持続可能な発展に貢献することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



多様なアプローチをつうじて持続可能な都市を創る

機械工学専攻

機械工学専攻は、機械工学の基礎である機械力学・材料力学・流体力学・熱力学の4力学に加え、それらの応用先である環境・エネルギー、バイオ・医療、設計・生産・システムまで、幅広い領域における研究と教育の推進を担っている。これらの先端科学技術領域における基礎・基盤の学術分野から応用技術分野にわたる研究活動を通じた教育プログラムによって、安全で安心な社会と健康で豊かな生活の実現、そして世界の文明・文化の進歩に貢献する技術者や研究者を育成することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



自動車エンジンのカットモデルの前で議論する学生

精密工学専攻

未来を変える原動力たる「ロボテック (RT: Robot Technology)」と「プロテック (PT: Production Technology)」は、いずれも精密工学が先頭に立って切り拓き、互いに深く結びつきながら発展してきた関連の深い技術領域である。精密工学専攻では、その基礎から応用までをしっかりと身につける専門教育を行う。また、社会の変化とニーズに機敏に対応して、先端デバイスを利用した生産技術や次世代バイオ・メディカル機器の開発、人工知能 (AI) ・機械学習を利用したシステム設計やロボット開発、さらにはそれらの社会への実装まで、幅広く教育・研究を行っている。



日本語版HP



英語版HP



医療用超音波検査の自動化

システム創成学専攻

グローバル化、複雑化した現代社会において噴出する様々な問題を解決するためには、対象を構成する基本要素を抽出、分析するといった旧来型の工学的貢献だけではなく、ものごとを多面的、全体的視点から捉えるシステム思考が不可欠である。システム創成学専攻では、工学技術の専門的かつ分野融合的な知見とそれをまとめるシステム思考を学び、新しい価値とシステムの創出を実現できる人材の輩出をめざしている。



日本語版HP



英語版HP



領域融合が複雑先進社会に新たな価値を創成する

航空宇宙工学専攻

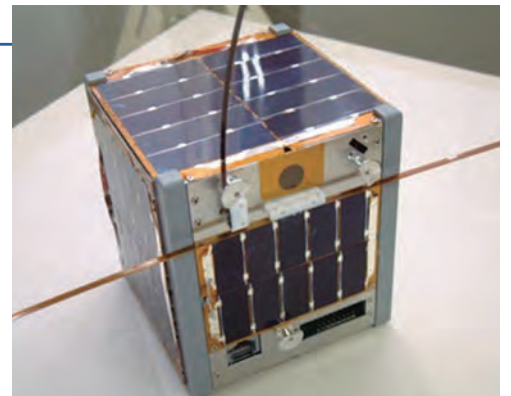
航空宇宙工学専攻は、航空宇宙という世界のもつ顕在的・潜在的意義、可能性を追求し、人類の幸福のためにそれらを積極的に活用していくための研究／教育を行うとともに、他の多分野にも応用できる先端的技術と知識および新しい工学の創成を目指し、航空宇宙のミッションを題材にシステムインテグレーション及びその実践的研究／教育を行う。これらの研究／教育により航空宇宙工学を担う人材を育成し、人類社会の発展に貢献することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



世界初の打ち上げに成功した1kg衛星

電気系工学専攻

電気系工学専攻は、電磁気学・量子物理学を中心とした物理学的側面と情報学的側面を融合した領域を創成し展開するために、エネルギー・環境・宇宙、ナノ物理・デバイス、情報・通信に関する研究教育を推進しています。研究分野は宇宙開発、電気自動車開発、電気エネルギー輸送の大容量化、人工知能やIoT、自動運転の中核をなす脳型LSIや最先端センシングデバイスなど多岐にわたります。いずれも目に見えない電子や情報の世界をデザインし制御する研究です。これらの研究を通じて、深い専門性、幅広い視野、オリジナリティと国際性をもつ次世代リーダーを育成することを目指しています。



日本語版HP



英語版HP



路面に埋められたコイルからインホイールモータへ走行中にワイヤレス給電できる電気自動車

物理工学専攻

学術の体系を基礎から理解し、新しい問題に挑戦する意欲のある人は、あらゆる分野で求められている。物理工学専攻は、物理学を基礎に、自ら考え、未踏の領域に挑戦し、世界をリードする人材を育成する。また、物理学の最先端を研究し、その成果を社会と産業に生かすことを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



世界を変えるアイデアはあるか？

マテリアル工学専攻

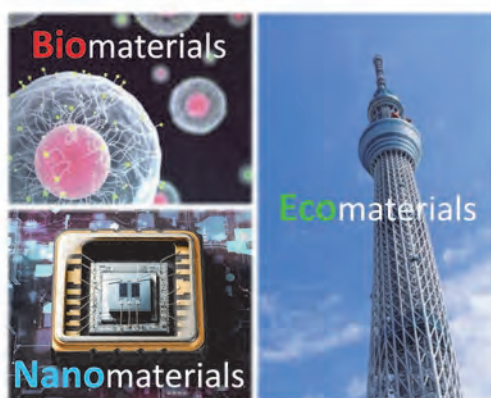
マテリアル工学専攻は、全ての人間活動の根底を支えるマテリアル工学の未踏領域を先導し、環境、エネルギー、情報・通信、医療などの現代社会が抱える課題・難問にマテリアル分野から突破口を切り拓き、人類社会の持続的発展と幸福に貢献することを究極的な目的とする。本専攻では、広範なマテリアルの基礎知識と高度な専門知識を習得し、且つ世界トップレベルの研究・開発を推進することによって、独創的且つ国際性豊かな次世代リーダーの育成を目指している。



日本語版HP



英語版HP



様々な創製されたマテリアルによって人類は支えられている

応用化学専攻

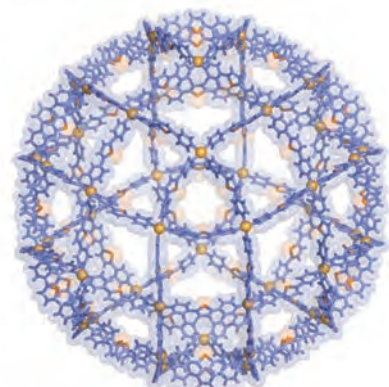
応用化学専攻は、化学に基づく新分野／新技術の創造を通じて持続可能な人類の発展や地球環境に貢献することを究極の目的とする。本専攻では、応用化学に関する幅広い基礎知識と高度な専門知識を身に付け、それを基盤として多岐の分野にわたる研究・開発を率先して展開する自立した人材を育成する。また、世界をリードする最先端の研究を推進することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



自己集合の原理で合成したナノスケールの巨大中空分子

化学システム工学専攻

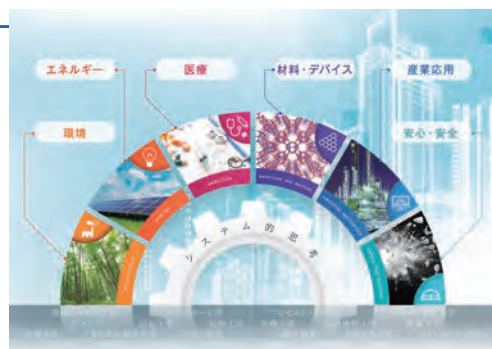
化学システム工学専攻は、分子から地球に至る各スケールでの化学現象の解析・制御と、それら構成要素のシステム化・設計に重点を置き、化学システム工学の方法論を身に付けた化学技術者・研究者を育成する。また、この方法論を用いて、環境、エネルギー、医療、材料・デバイス、産業応用、安全・安心などの分野で、人類の抱える社会課題の解決に向けた研究を先導し、持続可能社会の構築に貢献する。以上を本専攻の教育研究上の目的とする。



日本語版HP



英語版HP



化学知を社会に

化学生命工学専攻

化学生命工学専攻は、有機化学、高分子化学、生命科学、分子生物学など化学から生命にわたる広い学問領域を専門とすることで、化学および生命の融合領域において新しい化学・生命科学を創造できる人材を育成する。また、生物に習いながら優れた化学反応を創成する一方、化学を用いて生命現象の解明および生命系の改変に取り組む、これらを社会に大きく貢献できるテクノロジーへと発展させることを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



分子で語る化学と生命

先端学際工学専攻

先端学際工学専攻は、先端的科学技術に関する萌芽的・先導的な基礎／応用研究から、社会科学やバリアフリーという社会システムに関わる研究までを対象として、教育・研究指導を行う。また、社会人に対する再教育としての大学院教育も実施している。このような大学院教育／研究を通して、先端科学技術分野に関する独創的・創造的な研究者のみならず、広い視野に立つ先進的・国際的な研究者、経営管理者、さらには先端的・学際的な政策立案者の育成を図ることを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



多様な研究者が在籍する学際的研究環境を提供

原子力国際専攻

原子力国際専攻は、理工学の多様な分野に通じつつ、人や社会に関する高度な教養を体得し、原子力安全・エネルギーと放射線科学・応用に関する体系的な知識と思考方法を身に付け、学術とその活用に係わる研究・開発・計画・設計・生産・経営・政策提案などを国際的な視点から責任を持って担うことのできる人材を育成する。さらに、未踏分野の開拓や新たな技術革新に繋がる最先端研究へと果敢に挑戦し、人類社会の持続と発展に貢献できる人材の育成も目的としている。



日本語版HP



英語版HP



豊富な国際交流のチャンス

バイオエンジニアリング専攻

バイオエンジニアリング専攻は、持続的発展を希求し、少子高齢化が進む社会における人類の健康と福祉に資するために、既存のディシプリンである機械・電気・物理・化学・マテリアルなどの工学分野に立脚し、物質・システムと生体との相互作用を理解・解明して学理を打ち立てるとともに、その理論に基づいて相互作用を制御する基盤技術を構築する。それらの教育・研究を通じてバイオメディカル産業を先導し支える人材を育成することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



BIO×ENG 命の未来を考える人材の育成

技術経営戦略学専攻

技術経営戦略学専攻では、教育に関しては、科学技術イノベーション、経済・経営、社会システムの三つの領域と発展が著しい人工知能技術に関する専門的な素養を身に付けさせるとともに、それらを戦略的に統合する思考力や創造力を養うことで、次世代を切り拓くイノベーション活動の中核となるリーダーを養成している。研究については、Society5.0や国際連合のSDGsの実現に貢献すべく、産業のスマート化や新しいエネルギーシステム、医療経営、レジリエンス等の分野で、領域横断的な研究プロジェクトを推進している。



日本語版HP



英語版HP



国際性豊かな学習環境

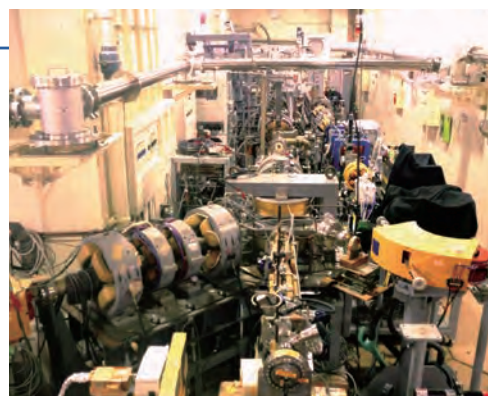
原子力専攻

原子力専攻では、先進原子炉工学、廃炉工学、先進レーザー・ビーム科学、医学物理、原子力燃料材料および核融合炉材料開発等の研究を行っており、専攻で保有する大型装置等は国内外に広く共同利用されている。

また、国内唯一の原子力専門職大学院として、原子力に関係する産業界、行政機関、研究開発機関等で指導的役割を果たす高度技術者を育成しており、安全運転、維持管理、監督指導のための深い学識を教授している。



日本語版HP



極短パルスの電子線を発生するLINAC施設

(4) 学科

社会基盤学科

社会基盤学科は、国や地域における自然や歴史、文化、さらに国際的な視野に立ち、社会基盤の整備や運営を先導できる人材の育成を目的とする。社会基盤学の領域は地盤、構造物、材料、水文、河川、海岸、環境、エネルギー、防災（地震・豪雨・台風など）、国土計画、景観、都市、交通、マネジメント、国際など多岐にわたり、私たちの安全・安心で豊かな社会・生活を支える。社会基盤学科では、これらの社会基盤学の体系的な知識や技術を習得し、変化する社会や生活に対応することのできる応用力を養うための教育・研究を推進する。



日本語版HP



英語版HP



東大演習林におけるフィールド演習の様子

建築学科

建築学科は、建築の計画・設計・生産・保全のための学術・技術・芸術における計画・構造・環境の各分野の知識を習得するとともに、これらの知識を総合して設計・提案する能力を身に付け、人類社会の持続と発展に貢献できる幅広い視野と創造力を持った人材を育成することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



建築模型を囲んでのエスキース・クリティーク

都市工学科

都市工学科は、都市工学に関する体系的な知識を身に付け、都市計画、都市デザイン、都市交通計画、都市解析、都市環境工学、都市水システム、国際都市環境、環境デザイン、都市マネジメントなどにおいて、国土及び地域社会の健全で持続可能な発展に貢献できる指導的人材を育成することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



多様なアプローチをつうじて持続可能な都市を創る

機械工学科

機械工学科は、基礎である機械力学・材料力学・流体力学・熱力学の4力学に加え、それらの応用先である環境・エネルギー、バイオ・医療まで、広い領域における教育と研究の推進を担っている。そして、これらの先端科学領域における基礎的学術分野から応用技術分野にわたる研究活動を通じて、新技術を開拓しうる指導的な技術者や研究者を育成することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



自動車エンジンのカットモデルの前で議論する学生

機械情報工学科

機械情報工学科では、人間と機械と情報を結ぶ理論とシステムを創造可能なグローバルな視点を持ち、かつ、緻密な思考を行える次世代のリーダーや研究者を育成することを目的とする。そのために、情報学だけではなく、人を知り、デザインし、形あるものを創造する機械工学も学ぶことにより、実世界に立脚した確固たる知識と経験を持つ人材を養成する。



日本語版HP



人を知り、ロボットを創る
ロボットを作り、人間に近づく

航空宇宙工学科

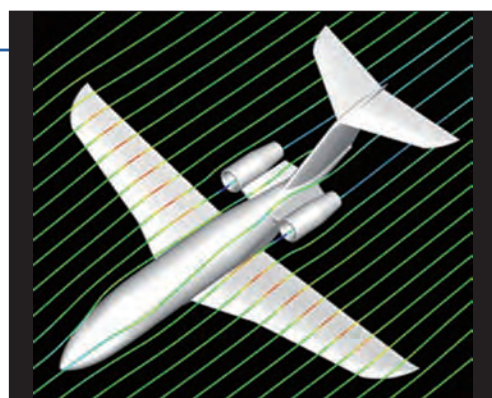
航空宇宙工学科は、航空機やそのエンジン、ロケット、人工衛星等の要素技術となる4つの力学（流体力学、材料・構造力学、制御工学、熱力学）を中心に学ぶとともに、それらの要素技術を組み合わせて、信頼性のある「システム」をいかに構築・運用するかというシステムインテグレーションやシステム工学を教育・研究する学科である。極限環境で動作するこれらのシステムの技術は他の多分野にも応用できる先進性を有している。



日本語版HP



英語版HP



コンピューターによる流れのシミュレーション

精密工学科

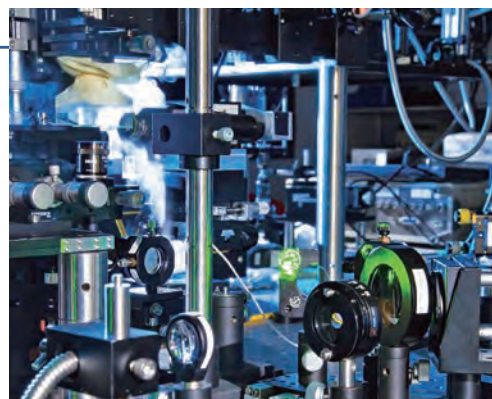
精密工学科では、「ロボテック (RT: Robot Technology)」と「プロテック (PT: Production Technology)」を対象として、その基礎から応用にわたる幅広い知識を持つ人材を育成する。これら2つの技術に根ざした、精密加工、精密計測、人工知能 (AI) を用いたシステム設計、ものづくりの情報化・知能化、バイオ・メディカル機器やサービスロボットなどに関する教育・研究を推進している。



日本語版HP



英語版HP



光応用ナノ加工、計測装置

電子情報工学科

電子情報工学科は、電子技術に立脚したコンピュータ・情報処理技術（ハードウェアとソフトウェア）、情報ネットワーク技術、通信システム技術、メディア・信号処理技術、知能情報処理技術などを対象として、その高度化と新技術の創出を担う人材を育成しています。学部生を対象として、海外で成果発表するプログラムもあります。



日本語版HP



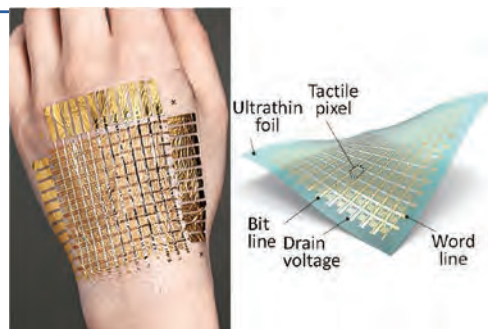
画素単位での可視光通信を実現する
テーブル型ディスプレイ「EmiTable」

電気電子工学科

電気電子工学科は、電磁気学・量子物理学を中心とした物理学を基礎としながら、ナノ物理・光量子・バイオ、エネルギー・環境・宇宙、システム・エレクトロニクスといった情報学的側面を融合した広範囲な領域を高度化するとともに、新たな技術を創出し、国際的に活躍できる次世代のリーダーを育成しています。



日本語版HP



世界でもっとも軽く薄く柔らかい電子回路でできたタッチセンサ

物理工学科

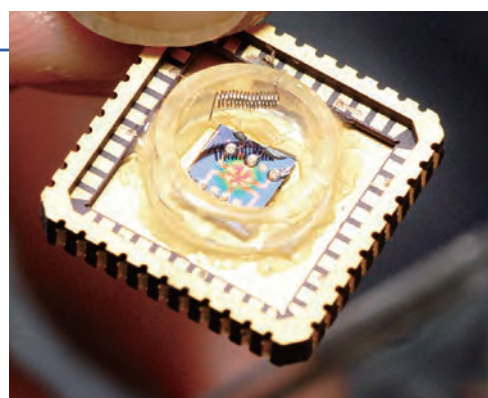
物理工学科は、未知の対象にアプローチする方法論の体系である物理学の基礎から最先端までを学び、それを基に新しい学問や産業分野を創生できる人材を育成することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



世界を変えるアイデアはあるか？

計数工学科

計数工学科は、数学と物理学と情報の基礎の上に立って、人類の幸福に役立つ工学の姿を追求する。特に、特定の産業分野に偏らず、工学のさまざまな分野の諸課題を解決するための基本的な考え方、普遍的な原理、系統的な方法論の構築を目指すとともに、新しい工学の可能性を広く探求することのできる人材の育成を目的とする。



日本語版HP



英語版HP



計数工学科で学ぶシステムと数理

マテリアル工学科

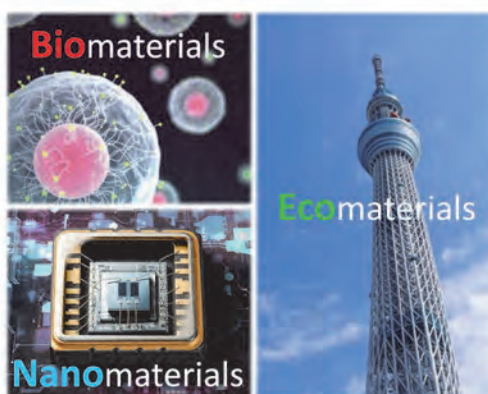
マテリアル工学科は、環境、エネルギー、情報・通信、医療などの人間活動を根底から支えるマテリアル工学に関する基礎から応用までの体系的な知識習得と、新たなマテリアルを研究・開発する創造的能力を涵養し、人類社会の持続的発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。そのため、バイオマテリアル、環境・基盤マテリアル、ナノ・機能マテリアルの3コースを設置し、あらゆるマテリアル領域の総合的かつ国際性豊かな教育・実習を通じて、視野広く有為な次世代リーダーの育成を目指している。



日本語版HP



英語版HP



様々な創製されたマテリアルによって人類は支えられている

応用化学科

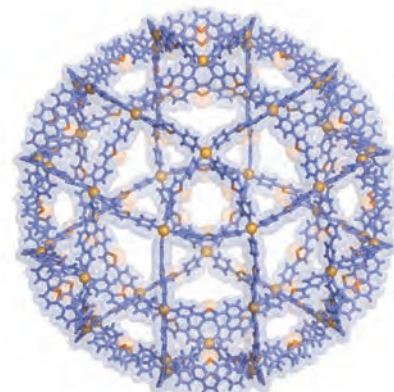
応用化学科は、化学に基づく新分野／新技術の創造を通じてサステナブルな人類の発展や地球環境に貢献することを究極の目的とする。そのため、物理化学、量子化学、無機化学、有機化学、分析化学などの基礎化学を体系的に学ぶ。さらにこれらを包括融合する大学院における先端研究を通じて、高度で有用な知識や技術を創成するための人材育成を目的とする。



日本語版HP



英語版HP



自己集合の原理で合成したナノスケールの巨大中空分子

化学システム工学科

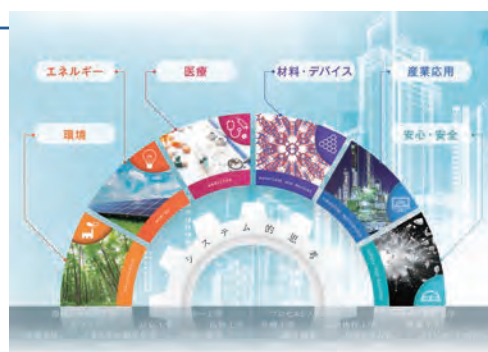
化学システム工学科は、化学をベースとした原子・分子レベルでの材料の開発や化学反応の制御に基づいて、マクロなスケールでのシステムの構築・解析を行える化学システム工学の方法論を身に付けた化学技術者、研究者を育成する。同時に、この方法論を用いて、環境、エネルギー、医療、材料・デバイス、産業応用、安全・安心などの分野で、人類の抱える社会的課題に取り組み、持続可能社会の構築に貢献できる人材を育成することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



化学知を社会に

化学生命工学科

化学生命工学科は、化学と生命を両輪に、これらの英知を社会に大きく貢献できる科学技術へと発展させることを目的とする。このため、有機化学、高分子化学、生命科学、分子生物学など化学から生命にわたる広い学問領域を体系的に学び、これらを包括融合する大学院における先端研究を通じて、次世代の科学技術の発展に貢献する魅力あふれる人材を育成する。



日本語版HP



英語版HP



分子で語る化学と生命

システム創成学科

現代社会が直面する複雑な問題は、20世紀に構築された科学・工学技術のみでは解決できない。システム創成学科は、理工学・社会科学などの知識・技術を融合することで俯瞰的視点を持ち、「社会は何を必要としているのか」「そのために何を作るのか」「どのようにデザインし機能させるのか」という「問題」の設定と「解決」ができる人材の育成を目的とする。知識の伝授というスタイルの教育に加え、PBL(Project Based Learning)を重視し、知識や事実、法則、原理などの Know-What に加え、それらの知識を使う方法、活かす方法、つまり「知」としての Know-How を積極的に習得する教育を目指す。



日本語版HP



Contents of Global Systems Innovation

(5) 附属施設

総合研究機構

工学系研究科長のリーダーシップのもと、新たな学術領域の創出に挑戦する戦略研究、工学系研究科に資する大型プロジェクトや社会連携・産学協創プログラムの活性化、優れた若手教員を育成する新分野開拓准教授プログラムなどを推進している。また、工学系研究科全体を支える研究基盤技術の管理運営を担っており、最先端分析機器及び加工装置群を学内外ユーザーに広く共用し、多岐にわたる研究支援を行っている。



日本語版HP



英語版HP



世界最高性能電子顕微鏡とスーパークリーンルーム

国際工学教育推進機構

国際的な工学教育研究基盤の構築、国内外の優秀な学生や教員の結集、世界との国際教育連携推進を目的として、平成23年4月に工学系研究科附属教育施設として設立された。科学技術立国の将来を見据え、世界リーディング大学に見合う国際求心力強化を目指しており、工学教育部門、国際教育部門、国際事業部門、学際研究部門、ものづくり部門を設置している。



日本語版HP



英語版HP



留学生によるお茶会

水環境工学研究センター

環境本位型社会における多様な社会的要望に応えられるように、基礎科学と実学の融合・連携から先端的水環境工学技術の開発研究を進める研究センターである。水質制御技術や新素材の開発、IoT センシング技術を活用した下水道インフラ整備や都市浸水リスク管理などの水システム管理、水と衛生に関わる国際水環境問題を主たる柱として、水分野において分野横断的且つ機動的な中核拠点となるべく、最先端の研究を推進している。



日本語版HP



英語版HP



都市浸水リスクの管理・制御のためのIoTを活用した管内水位センシング技術

量子相エレクトロニクス研究センター

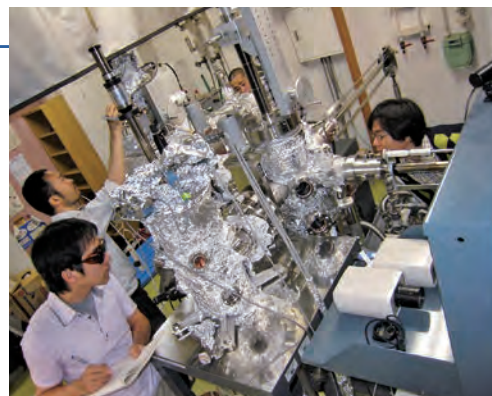
量子相エレクトロニクス研究センターでは、持続可能社会の形成に不可欠な、超高効率エネルギー変換・超低消費電力エレクトロニクスへ向けた革新的な物性科学原理を開拓している。強相関量子物質に関する実験・理論の融合研究により、モットロニクス、トポロジカルエレクトロニクス、スキルミオニクスなど、量子物質の創発性に基づく新しい電子技術原理を提案するとともに、その実証を行う。



日本語版HP



英語版HP



次の技術革命を起こすのはだれだ？

エネルギー・資源フロンティアセンター

エネルギー・資源フロンティアセンターは、深海や宇宙のフロンティア資源の発見・探査、新規性の高いフロンティア技術の開発を進展させ、環境に配慮した革新的な資源開発システムと最先端技術を創成することを目的とする。特に石油天然ガス開発とその環境共生を図るCCS、日本近海のメタンハイドレート開発、排他的経済水域の海底鉱物資源の探査と開発、人工的なプロセスによる資源の創成などの最先端の研究を重点的に推進する。



日本語版HP



英語版HP



南鳥島レアアース泥のピストンコアラーによる探査

光量子科学研究センター

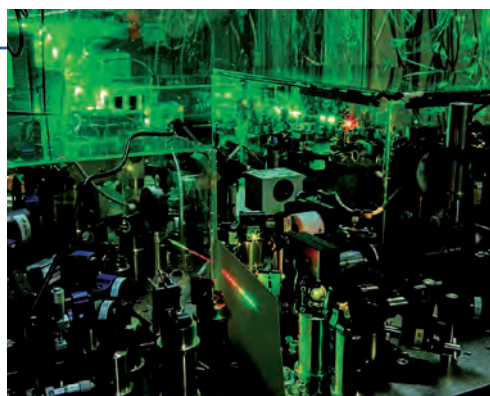
光量子科学研究センターは、光科学研究教育の中核を担う国際拠点形成を目指して設立された。科学および技術の基盤としての現代光科学の学理の構築と先端技術の開拓を進め、博士人材・若手研究者の育成を推進している。特に、光波および光量子を発生・操作・活用する革新的な科学技術の創出を目指している。



日本語版HP



英語版HP



量子の世界を究極的に計測・制御するレーザー光源

医療福祉工学開発評価研究センター

医療福祉機器技術は人体に介入を行うため、そのリスクと医療福祉上の効果（ベネフィット）を科学的に分析し、機器のリスクを低減しつつ効果の最大化を図る検討が研究開発段階で必須である。本センターでは、新規医療福祉機器技術の研究と共に、その性能・安全性の科学的評価方法の研究（レギュラトリーサイエンス研究）を行い、工学系研究科の様々な先進的な医療福祉に関する研究成果の早期臨床展開を目指している。



日本語版HP



医療技術評価実験室における低侵襲手術支援システムの研究

レジリエンス工学研究センター

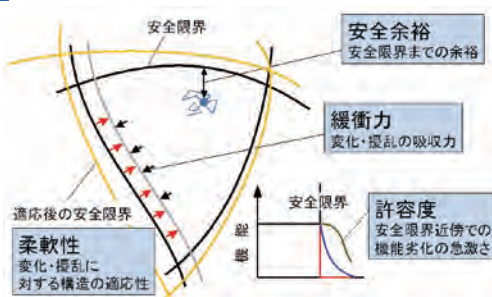
さまざまな分野でリスクマネジメントに関する新しい考え方が求められており、外乱やシステム内部の変動がシステムの全体機能に与える影響を吸収し、状態を平常に保つシステムの能力であるレジリエンスの概念が注目を集めるようになった。本センターは、レジリエンスを有するシステム実現のための学理と方法論に関する教育研究活動を進めている。



日本語版HP



英語版HP



レジリエンスに関連するシステムの特長

スピントロニクス学術連携研究教育センター

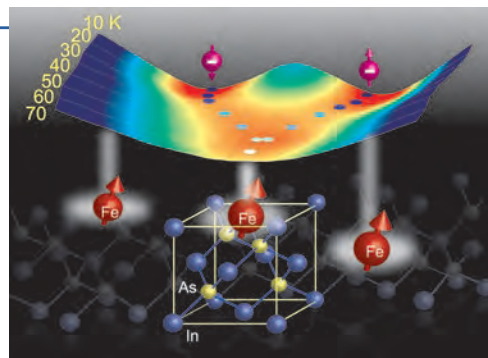
「スピントロニクス」は、エレクトロニクスや情報処理に「スピン」自由度を積極的に取り入れた材料/デバイス/システムの研究開発を行う学際的分野である。学術と応用技術の両面で急速に発展しており、エネルギー消費を抑えた新しいICT技術の飛躍的進歩が期待されている。この分野の拠点として本センターを設置し、全国の研究者の力を結集してネットワークを構築し、イノベーションを通じて社会に貢献する。



日本語版HP



英語版HP



スピンの性質と機能をもつ新しい物質、ナノ構造、デバイスをつくり、科学技術の革新を目指す

人工物工学研究センター

本センターでは、技術がもたらした現代の様々な社会的課題を解決し、循環型社会を実現する持続可能な次世代モノづくり（サービスも含む）、価値創造の方法論の構築とその体系化に関する研究教育を行っている。具体的には、それを発展させ産学官協創によってその社会実装に取り組むとともに、価値創成部門、認知機構部門、実践知能部門の3部門で、次世代モノづくりのための新たな基礎・基盤研究を推進し、それらの活動を通じて人材育成を図る。



日本語版HP



英語版HP



モノづくりにおける課題解決を目指した取り組みの一つである、ロボットによる部品組付けのシミュレーション

システムデザイン研究センター

知識集約型社会が到来する。価値の中心が製品からサービスに移ったとき、製造業はどうなっているのだろうか？その答えを探すのが本センター(d.lab)の使命である。d.labはソリューションを創り出す側の視点に立って、システムのアイディアを持つ人なら誰でも専用チップを即座に手にすることができるように、デザインの手法と製造のエコシステムを再構築することを目指す。データ駆動型システムのデザインプラットフォームを作り、データ駆動型社会で活躍する人材を育成する。



日本語版HP



英語版HP



シリコンコンバイラーでソフトウェアを書くようにチップを作る

キャンパス・マネジメント研究センター

21世紀の未来社会では、従来の建築学とは異なるマネジメント学が求められている。本センターは、東京大学のキャンパスの建物群を対象として、施設の保全と更新、歴史的空間資源の活用、情報通信技術の活用を推進する。ファシリティ・マネジメント (FM)、プロパティ・マネジメント (PM)、情報マネジメント (IM) の3つの観点を相互に発展させながら、未来社会に相応しい理想の大学空間の創造を目標として、研究・教育・実践を推進する。



ドリーム講義室の実現計画



日本語版HP

ナノシステム集積センター

最先端のナノデバイス製造共用設備を一元管理する拠点として、ラピッドプロトタイピングを支援し、オープンイノベーションを推進するとともに、ベンチャー育成と産学連携等によりデジタル変革を加速する。また、電子デバイス、光デバイス、MEMS、微小流体デバイスなどの試作開発環境を整え、これらのデバイスの設計、製作、評価、および関連する材料・プロセス開発に関する研究と教育を展開する。



日本語版HP



武田先端知ビルと地下のクリーンルーム

4. 教職員数

(2022.5.1現在) (単位：人)

教 員 数																	計	
教授		准教授		講師		助教		助手		特任教授		特任准教授		特任講師		特任助教		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男		女
163	9	112	7	40	2	120	12	2	2	13		19	4	13	3	48	10	579

職員数				計
事務部		技術部		
男	女	男	女	
56	79	66	17	218

専攻等	教 員 数										計
	教授	准教授	講師	助教	助手	特任教授	特任准教授	特任講師	特任助教		
社会基盤学	13	6	3	8				1	4	35	
建築学	11	10		6		2	1		2	32	
都市工学	7	7	3	6			1	1	5	30	
機械工学	10	7	5	12		1	1	2	7	45	
精密工学	7	5		5					5	22	
システム創成学	15	13	4	4				1		37	
航空宇宙工学	11	6		6			4			27	
電気系工学	15	8	4	2		1	1	1	5	37	
物理工学	9	5	7	17						38	
マテリアル工学	12	6	4	6		1			1	30	
応用化学	7	6	2	12		1	1	2	2	33	
化学システム工学	5	1	2	8		1			3	20	
化学生命工学	5	5	2	11			1		2	26	
先端学際工学	2			1						3	
原子力国際	5	2		2			1		1	11	
バイオエンジニアリング	6	3	2	2			3	2	7	25	
技術経営戦略学	3	3	1	1				2	3	13	
原子力	3	5		3	1	1	1		1	15	
附属水環境工学 研究センター	1	1								2	
附属量子相エレクトロニクス 研究センター	3	1		4			2			10	
附属総合研究機構	5	5		8	1	3	3	3	7	35	
附属エネルギー・資源 フロンティアセンター	2	1	1	1						5	
附属光量子科学 研究センター	1	1		2						4	
附属国際工学 教育推進機構	4	3	1	1	2		2		3	16	
附属医療福祉工学 開発評価研究センター	1									1	
附属レジリエンス 工学研究センター	1	3								4	
附属スピントロニクス 学術連携研究教育センター		2								2	
附属人工物 工学研究センター	5	1		2		1	1			10	
附属システム デザイン研究センター	2	2	1	2		1		1		9	
環境安全管理室	1	1								2	
計	172	119	42	132	4	13	23	16	58	579	

事務部等	計
事務部長	1
学務課	48
国際推進課	8
情報図書課	11
総務課	31
財務課(技職4含む)	35
企画調整担当課	1
小計	135
技術部	83
計	218

5. 学生数等

(1) 学部学生数 (2022.5.1現在) (単位：人)

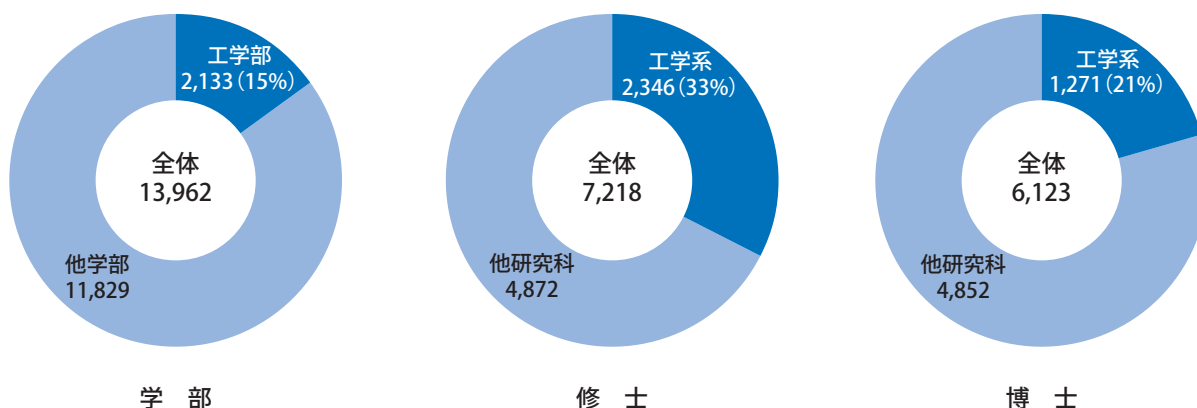
学科等	定員	学生数			研究生			進入学者数	
		男	女	計	男	女	計		
社会基盤学科	80	84	18	102				(2)	52
建築学科	120	90	34	124	1		1	(1) <1>	60
都市工学科	100	83	31	114	1		1	(2)	54
機械系		} 274		296				(4)	140
機械工学科	170								
機械情報工学科	80								
航空宇宙工学科	104	103	13	116					55
精密工学科	90	82	13	95				(1)	48
電子・情報系		} 255	24	279				(3)	132
電子情報工学科	80								
電気電子工学科	150								
物理工学科	100	110	6	116					55
計数工学科	110	127	9	136				(2)	66
マテリアル工学科	150	140	8	148					66
応用化学科	110	100	10	110				<1>	53
化学システム工学科	100	94	13	107				[2]	48
化学生命工学科	100	69	22	91	1		1		49
システム創成学科	232	273	26	299	1		1	(4) [2]	138
計	1,876	1,884	249	2,133	4		4	(19) <2>	[4] 1,016

※ 収容定員欄は、学部通則第1条第2項別表の数値のうち、学部後期課程分を示してある(年次進行)
 ※ 進入学者数について、()は編入学、< >は学士入学及び再入学、[]は転学部及び転学科で内数

(2) 大学院工学系研究科学生数 (2022.5.1現在) (単位：人)

専攻	修士課程				博士課程				専門職学位課程				大学院 外国人研究生			大学院研究生			入学者数			
	収容定員	男	女	計	収容定員	男	女	計	収容定員	男	女	計	男	女	計	男	女	計	修士	博士	専門職	
社会基盤学専攻	104	165	37	202	72	67	27	94											73	7		
建築学専攻	74	129	64	193	48	77	33	110					8	8	16				1	1	72	9
都市工学専攻	74	121	54	175	33	43	32	75					1	2	3				1	1	41	7
機械工学専攻	104	229	27	256	75	116	18	134					2	1	3						87	15
精密工学専攻	54	93	13	106	36	50	10	60					5		5	1	1	2			43	7
システム創成学専攻	90	151	15	166	57	43	9	52					9	3	12						68	4
航空宇宙工学専攻	74	121	4	125	54	56	9	65						1	1				1	1	56	14
電気系工学専攻	140	258	35	293	96	116	10	126						2	2	1			1	1	98	15
物理工学専攻	84	110	1	111	57	77	2	79					2		2	1			1	1	51	31
マテリアル工学専攻	90	131	17	148	60	54	8	62					2	2	4						65	9
応用化学専攻	66	103	21	124	39	27	4	31					2	1	3						52	13
化学システム工学専攻	56	69	21	90	39	23	7	30						1	1						38	2
化学生命工学専攻	64	85	28	113	39	56	20	76					1	2	3						50	25
先端学際工学専攻					138	86	16	102					1		1							16
原子力国際専攻	44	56	8	64	33	38	6	44					1		1						27	4
バイオエンジニアリング専攻	58	59	22	81	36	59	18	77					2	1	3						33	11
技術経営戦略学専攻	35	85	14	99	24	49	5	54						3	3						34	6
原子力専攻									15	15			15									15
計	1,211	1,965	381	2,346	936	1,037	234	1,271	15	15		15	36	27	63	3	4	7	888	195	15	

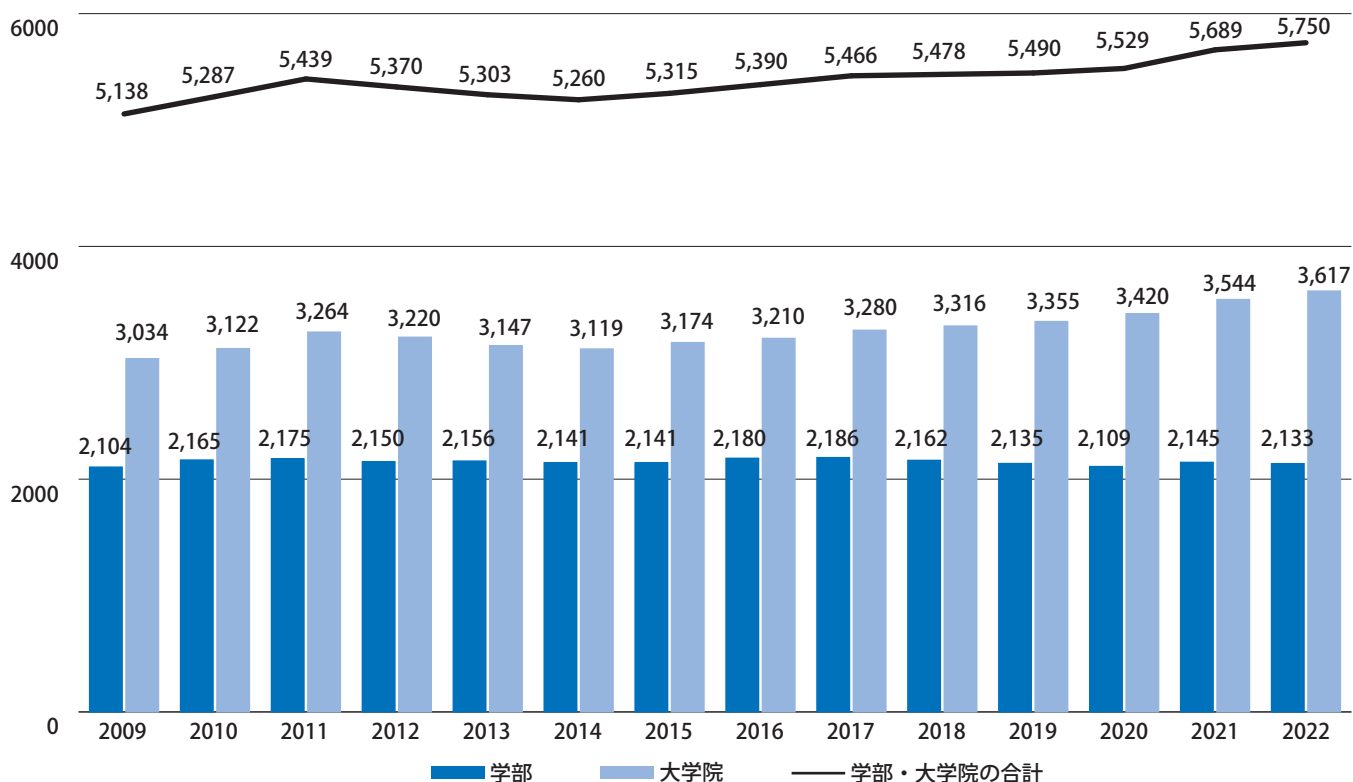
(3) 本学における工学部・工学系研究科の学生数の割合（2022.5.1現在）（単位：人）



(4) 学生数の推移（2022.5.1現在）（単位：人）※専門職学位課程を含む

年 度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
学 部	2,104	2,165	2,175	2,150	2,156	2,141	2,141	2,180	2,186	2,162	2,135	2,109	2,145	2,133
大 学 院	3,034	3,122	3,264	3,220	3,147	3,119	3,174	3,210	3,280	3,316	3,355	3,420	3,544	3,617
学部・大学院の合計	5,138	5,287	5,439	5,370	5,303	5,260	5,315	5,390	5,466	5,478	5,490	5,529	5,689	5,750

学生数
(単位：人)



(5) 博士学位授与数 (2022.3.31現在) (単位：人)

区分	旧制	新制 (課程博士)		新制 (論文博士)		計	
	累積	2021年度	累積	2021年度	累積	2021年度	累積
工学博士	1,916		2,940		3,202		8,058
博士 (工学)		266	7,569	24	2,905	290	10,474
博士 (学術)		3	135	0	17	3	152

(6) 博士学位授与数の推移 (2022.5.1 現在) (単位：人)

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
課程博士 (工学)	265	269	266	232	241	261	273	252	251	266
課程博士 (学術)	5	7	3	7	4	8	2	6	3	3
論文博士 (工学)	49	37	35	24	35	35	34	30	21	24
論文博士 (学術)	0	0	1	0	0	3	1	1	0	0
合計	319	313	305	263	280	307	310	289	275	293

(7) 卒業後の進路 (2021.3.31現在) (単位：人)

進路状況		学部	修士	博士	専門職
卒業・修了者		961	1,025	297 (*43)	16
進学	大学院研究科	688	167	11	
	他学部等への進学	1			
	専修学校・外国の学校等入学者	3	3	2	
	小計	692	170	13	
就職	農業、林業				
	漁業				
	鉱業、採石業、砂利採取業		1		
	建設業	6	58	8	
	製造業	4	222	54	2
	電気・ガス・熱供給・水道業	6	18	1	12
	情報通信業	21	106	10	
	運輸業、郵便業	3	14		
	卸売業、小売業	2	8	1	
	金融業、保険業	9	49	1	
	不動産業、物品賃貸業	3	13		
	学術研究、専門・技術サービス業	1	39	79	
	宿泊業、飲食サービス業				
	生活関連サービス業、娯楽業	6	6		
	教育・学習支援業	2	5	19	
	医療、福祉		4	1	
	複合サービス事業	8	15	1	
	サービス業	4	36	2	
	公務	7	28	2	1
	その他の企業等	9	41	7	
小計	91	663	186	10	
その他		178	192	98	6

* 満期退学者で内数

6. 国際交流

(1) 国際交流協定校（2022.5.1現在）

地域	国名／地域名	大学（機関）名
アジア	インド	* インド工科大学カラグプール（覚書のみ）
		* インド工科大学カンプール校（覚書のみ）
		* インド工科大学デリー校（覚書のみ）
		* インド工科大学ハイデラバード校（覚書のみ）
		* インド工科大学マドラス校（覚書のみ）
		◆*インド工科大学ボンベイ校
		* インド工科大学ルーキー校
		* インド経営大学院バンガロール校
	インドネシア	* バンドン工科大学（覚書のみ）
	カザフスタン	アルファラビ国立大学機械・数学部、生物学部、化学部、物理学部 ナザルバエフ大学工学・デジタルサイエンス学部
	シンガポール	ナンヤン工科大学工学部
	シンガポール・中国	* シンガポール国立大学設計・環境学部／同済大学建築・都市計画学院／清華大学建築学院
	スリランカ	モラツア大学工学部
	タイ	* チュロンコン大学工学部
		* タマサート大学 国際工学部（SIIT）
		◆*アジア工科大学院 東・東南アジア地球科学計画調整委員会
	ベトナム	* ベトナム国家大学ハノイ校理科大学（覚書のみ）
		フエ大学自然科学部 ベトナム科学技術院ベトナム国家衛生センター
	マレーシア	ペトロナス工科大学
韓国	韓国科学技術院（KAIST）工科大学・生命科学技術大学	
韓国・中国	◆ 成均館大学	
中国	* ソウル国立大学校工科大学・清華大学	
	◆ 中国科学技術大学	
	◆ 清華大学	
	◆ 浙江大學	
	中南大学	
	重慶大学	
	* 西安交通大学	
	* 大連理工大学	
	天津大学	
	* 同済大学大学院	
	東南大学	
	北京化工大学	
	* 北京交通大学	
	華北電力大学	
	* 香港理工大学建設・環境学部	
華南理工大学機械・汽車工程学院		
台湾	台北科学技術大学設計大学・工学部	
	国立成功大学電気情報工学部	
	工業技術研究院	
	国立清華大学科技管理学院	
	* 国立台湾大学工学院（覚書のみ）	
	台湾亜州大学	
	中原大学工学部	
	国家実験研究院	
* 国立中山大学理学院・工学院		
ミャンマー	ヤンゴン工科大学	
オセアニア	オーストラリア	* ロイヤルメルボルン工科大学 ◆ 南オーストラリア大学
	ニュージーランド	* キーランド工科大学理工学部 * カンタベリー大学工学部
	アラブ首長国連邦	カリファ科学技術研究大学工学部 高等技術大学 アラブ首長国連邦大学 アブダビ大学工学部
サウジアラビア	アブドラ国王科学技術大学（KAUST）	
トルコ	* 中東工科大学工学部	
	◆*イスタンブール工科大学	
中南米	コロンビア	南米コロンビア6大学（コロンビア国立大学建築・都市工学部、ピロト大学建築学部、ロスアンデス大学建築学部、ラサール大学建築学部、ボンチフィチア・ポリバリアナ大学建築学部、アンティオキア大学工学部）
	ブラジル	◆ サン・パウロ大学 ◆ ペルナンブコ州立大学
北米	アメリカ合衆国	* マサチューセッツ工科大学
		ワシントン大学工学部（シアトル）
		クレムソン大学
		◆ ライス大学 * カリフォルニア大学（覚書のみ）

地域	国名/地域名	大学(機関)名
北米	アメリカ合衆国	南カリフォルニア大学 エリ・エディス ブロード再生医療・幹細胞研究センター
		ハーバード大学歯学部
		マサチューセッツ総合病院
カナダ		◆ トロント大学
		* マクマスター大学
イギリス		◆ エセックス大学
		ダーラム大学ビジネススクール・地理学科
		カーディフ大学工学部
		ケンブリッジ大学工学部
		国立海洋センター
イタリア		◆*トリノ工科大学
		* ミラノ工科大学
		* 聖アンナ大学院大学バイオロボティクス研究所
オーストリア		* ウィーン工科大学
		* グラーツ工科大学
オランダ		* デルフト工科大学機械・海洋・マテリアル工学部
スイス		* トエンテ大学
		◆*スイス連邦工科大学ローザンヌ (EPFL)
スウェーデン		* チャルマース工科大学
		◆ ルンド大学
		* ルレオー工科大学
		* リンシェピン大学理工学部
		スウェーデン・イノベーションシステム庁 (VINNOVA)
* スウェーデン王立工科大学 (KTH)		
スペイン		* マドリッド工科大学建築学部
デンマーク		* バレンシア工科大学
		* デンマーク工科大学
ヨーロッパ	ドイツ	* ミュンヘン工科大学
		◆*シュツットガルト大学
		* カールスルーエ大学
		フライブルグ大学マイクロシステム工学科
		フライブルグ大学生物学部
		* ダルムシュタット工科大学
		* フリードリッヒ・アレキサンダー大学エアランゲン・ニュルンベルグ工学部
		* アーヘン工科大学数学部、コンピューターサイエンス及び自然科学部、建築学部、土木学部、機械工学部、資源及びマテリアル工学部、電気及び情報学部
		* ウルム大学
		* ワイマール・バウハウス大学土木工学部
		* ブランデンブルク工科大学
		* ブラウンシュバイク工科大学 機械工具・生産技術研究所
		* ブラウンシュバイク工科大学自動車産業・産業生産研究所
		◆ ボッフム・ルール大学
		◆*ノルウェー工科大学自然科学大学 (NTNU)
ノルウェー		* アールト大学化学工学部、電気工学部、工学部、理学部
フィンランド		◆ エコールポリテクニク
フランス		* サントラル・スープレック-パリ・サクレー大学
		* エコール・アトランティック (旧エコール・デ・ミン・ド・ナント)
		* フランス国立応用科学院リヨン校 (INSA Lyon)
		* ソルボンヌ大学 (旧パリ第6大学 (ピエール・エ・マリー・キュリー))
		* エコール・デ・ボン・パリテク (ENPC)
		* エコール・ミン・パリ
		* 航空宇宙高等学院 (ISAE)
		* エコール・セントラル・リヨン
		* 国立民間航空大学校 (ENAC)
		国立パリ建築大学ラビレット校
		* トロワ工科大学
		* サヴォア・モンブラン大学
		* パリ・サクレー高等師範学校
		* コンピエーニュ工科大学
		* パリ・スッド大学 (パリ第11大学)
* ボルドー大学		
ギユスターヴ・エッフェル大学		
ポーランド		国立原子核研究センター (NCNR)
ルーマニア		トランシルバニア大学
ロシア		ビテシュティ大学 経済学・法学研究科、機械工学研究科、電子工学研究科
		* サンクトペテルブルク国立大学
EU (フランス・ベルギー・ポルトガル・ドイツ・ブルガリア)		* AUSMIP (国立パリ建築大学ラビレット校、ルーバン大学建築学部、リスボン工科大学建築学部、ミュンヘン工科大学、ソフィア建築・土木・測地学大学)

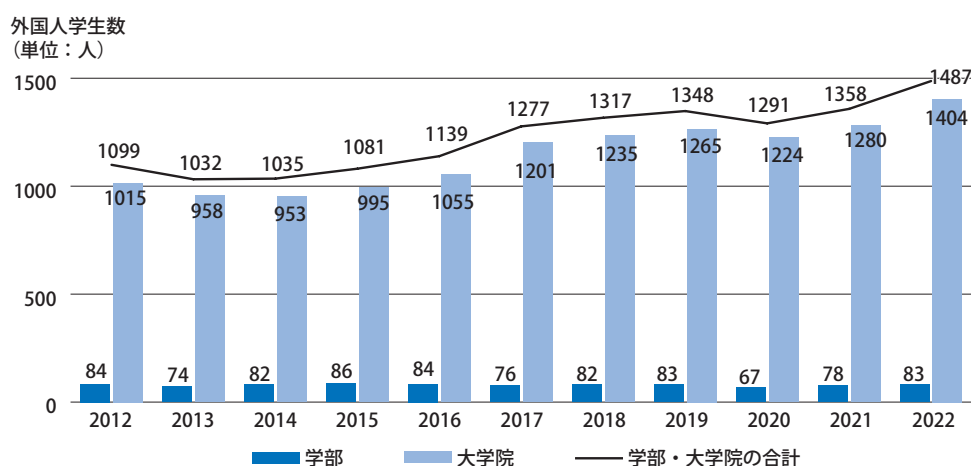
39ヶ国/地域 134件

※ *は単位互換および相互授業料不徴収、◆は全学協定 工学系研究科が担当している全学協定および部局協定を掲載
 その他全学的な協定締結状況については下記国際本部HP参照 <http://dir.u-tokyo.ac.jp/SysKyotei/01/?module=User&clear=1>

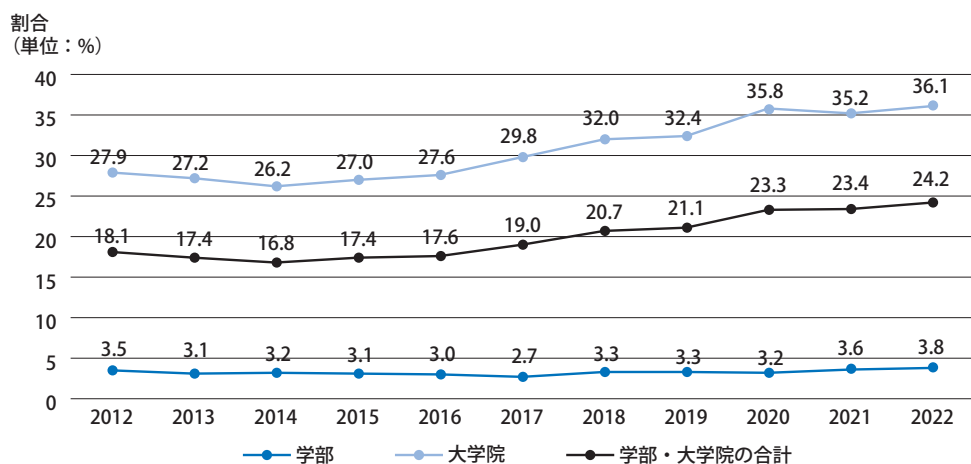
(2) 外国人学生数 (2022.5.1現在) (単位：人)

学科・専攻	学部学生		学部研究生		学部聴講生		学部特別聴講学生		学部計	修士課程			博士課程			大学院外国人研究生			大学院特別研究生			大学院特別聴講学生			大学院研究生			大学院計	計		
	男	女	計	男	女	計	男	女		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女			計	
社会基盤学	1		1							1	50	16	66	53	25	78				1	1	2						146	147		
建築学		5	5	1		1				6	24	21	45	39	20	59	8	8	16		1	1						121	127		
都市工学	1		1							1	18	15	33	16	22	38	1	2	3		1	1						75	76		
機械工学	6		6							6	71	16	87	73	14	87	2	1	3	2	1	3						180	186		
機械情報工学	6	4	10							10																			10		
精密工学	2		2							2	21	6	27	21	6	27	5		5	2	2	4			1	1	2	65	67		
システム創成学	10	1	11							11	38	11	49	25	5	30	9	3	12	6		6						97	108		
航空宇宙工学	3	1	4							4	12		12	15	4	19		1	1	1	1	2						34	38		
電気系										111	21	132	65	7	72		2	2	1		1							207	207		
電子情報工学	8	3	11							11																			11		
電気電子工学	5	1	6							6																			6		
電子・情報系																															
物理工学	4	1	5							5	13		13	12	2	14	2		2	1	1							30	35		
計数工学	4	5	9							9																			9		
マテリアル工学	2	1	3							3	20	7	27	30	7	37	2	2	4	1		1						69	72		
応用化学	3	1	4							4	18	9	27	8	2	10	2	1	3									40	44		
化学システム工学	3		3							3	18	8	26	11	5	16		1	1		2	2						45	48		
化学生命工学	1		1							1	12	10	22	25	11	36	1	2	3									61	62		
先端学際工学														28	10	38	1		1										39	39	
原子力国際											28	5	33	22	5	27	1		1	1	1								62	62	
バイオエンジニアリング											16	6	22	31	13	44	2	1	3										69	69	
技術経営戦略学											25	14	39	17	3	20		3	3	1	1	2							64	64	
原子力その他																															
計	59	23	82	1		1				83	495	165	660	491	161	652	36	27	63	17	10	27			1	1	2	1,404	1,487		

(3) 外国人学生数の推移 (2022.5.1現在)



(4) 学生数に占める外国人学生割合の推移 (2022.5.1現在)



※正規生のみ (研究生、聴講学生等を除く。)

7. 研究活動

(1) 外部資金等受入状況

区分	2019年度		2020年度		2021年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
科学研究費助成事業	631	3,693,780	660	3,880,451	656	3,387,673
受託研究等	336	7,511,591	482	7,512,944	451	10,434,712
民間等との共同研究	570	3,570,735	580	4,708,465	473	4,857,204
寄附金	416	1,542,928	355	1,338,846	385	1,570,429
その他補助金等	87	911,565	64	1,083,058	56	562,511
計	2,040	17,230,599	2,141	18,523,764	2,021	20,812,529

(2) 寄付講座一覧 (2022.4.1現在) (単位:千円)

名称	寄附者	寄附総額	設置期間	設置専攻
都市持続再生学	住友不動産(株)、東京建物(株)、三菱地所(株)、三井不動産(株)、森ビル(株)、(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)竹中工務店、東日本旅客鉄道(株)、東京電力(株)、東京ガス(株)、積水ハウス(株)	156,000	2007.10.1 ~ 2012.9.30	都市工学
	三井不動産(株)、三菱地所(株)、森ビル(株)、(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、(株)竹中工務店、積水ハウス(株)、東京ガス(株)、(株)日立製作所、大成建設(株)	113,000	2012.10.1 ~ 2017.9.30	
	三井不動産(株)、三菱地所(株)、森ビル(株)、(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)竹中工務店、積水ハウス(株)、東日本旅客鉄道(株)	115,000	2017.10.1 ~ 2022.9.30	
パワーフロンティア寄付講座	関西電力(株)、(株)日立製作所、三菱電機(株)、住友電気工業(株)	200,000	2008.6.1 ~ 2013.5.31	電気系工学
	(株)日立製作所、三菱電機(株)、住友電気工業(株)	150,000	2013.6.1 ~ 2018.5.31	
	三菱電機(株)、住友電気工業(株)、日本ガイシ(株)、(株)東光高岳、東海旅客鉄道(株)	112,500	2018.6.1 ~ 2023.5.31	
ユビキタスパワーネットワーク寄付講座	東日本旅客鉄道(株)、(株)東芝	130,000	2008.6.1 ~ 2013.5.31	電気系工学
	東日本旅客鉄道(株)、(株)東芝、電源開発(株)、富士電機(株)、(株)明電舎	112,500	2013.6.1 ~ 2018.5.31	
	東日本旅客鉄道(株)、(株)東芝エネルギーシステム(株)、電源開発(株)、富士電機(株)、(株)明電舎、(株)日立製作所	138,500	2018.6.1 ~ 2023.5.31	
基盤材料マネジメント工学	日本製鉄(株)、JFE スチール(株)、(株)神戸製鋼所	195,000	2017.10.1 ~ 2022.9.30	マテリアル工学
建築生産マネジメント	(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)竹中工務店	250,000	2017.4.1 ~ 2022.3.31	建築学
	(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)竹中工務店	250,000	2022.4.1 ~ 2027.3.31	
i-Construction システム学	(一社)日本建設業連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)全国地質調査業協会連合会、(一社)全国測量設計業協会連合会、(一社)日本建設機械施工協会	311,850	2018.10.1 ~ 2021.9.30	社会基盤学 精密工学
	(一社)日本建設業連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)全国地質調査業協会連合会、(一社)全国測量設計業協会連合会、(一社)日本建設機械施工協会	306,000	2021.10.1 ~ 2024.9.30	
ブロックチェーンイノベーション	(株)三井住友フィナンシャルグループ、(株)ホットリンク、マネーフォワードフィナンシャル(株)、(株)グッドラックスリー、(株)ジェイ・エス・エス、(株)ジッパー	90,000	2018.11.1 ~ 2022.1.31	技術経営戦略学
	(株)グッドラックスリー、(株)スターマウンテン	90,000	2022.2.1 ~ 2025.1.31	
量子情報処理学	日亜化学工業(株)	400,000	2019.4.1 ~ 2027.3.31	総合研究機構
自動車の設計教育	(株)N アンドパートナーズ、シェフラージャパン(株)、旭鉄工(株)、(株)小松製作所、(株)テイイン、千葉泰常	87,000	2019.7.1 ~ 2022.6.30	機械工学

アドバンテスト D2T	(株)アドバンテスト	90,000	2019.10.1 ~ 2022.9.30	システムデザイン 研究センター
健康長寿生命機能工学	(一財) 未踏医科学研究財団	150,000	2019.11.1 ~ 2024.10.31	バイオ エンジニアリング
下水道システムイノベーション	東京都下水道サービス(株)	190,000	2020.4.1 ~ 2025.3.31	都市工学
航空宇宙革新構造設計	(株)IHI エアロスペース	140,000	2020.4.1 ~ 2023.3.31	航空宇宙工学
復興デザイン研究体講座	復興調査設計(株)、アジア航測(株)	60,000	2021.4.1 ~ 2024.3.31	社会基盤学
AI 経営寄付講座	PwC Japan 合同会社	300,000	2021.6.1 ~ 2024.5.31	技術経営戦略学
アントレプレナーシップ教育 デザイン	(株)経営共創基盤、(株)東京大学エッジキャ ピタルパートナーズ、(株)松尾研究所、K D D I(株)	120,000	2021.7.1 ~ 2024.6.30	技術経営戦略学
世界モデル・シミュレータ	(株)スクウェア・エニックス・AI& アーツ・ アルケミー、ソニーグループ(株)、日本電 気(株)	550,000	2021.7.1 ~ 2026.6.30	人工物工学 研究センター

(3) 社会連携講座一覧 (2022.4.1現在) (単位：千円)

名称	連携機関名	経費総額	設置期間	設置専攻
産業機械の創成	(株)小松製作所	362,139	2019.4~2024.3	機械工学
		582,170	(2007.4~2019.3)	
将来航空推進システム技術創成	(株)IHI	99,000	2022.4~2025.3	航空宇宙工学
		98,400	(2019.4~2022.3)	
		197,200	(2012.12~2019.3)	
ガラスの先端技術の創出	AGC(株)	105,000	2021.4~2024.3	人工物
		105,000	(2018.4~2021.3)	
		106,301	(2015.4~2018.3)	
インテリジェント施工システム	(株)フジタ	50,000	2022.4~2024.3	精密工学
		62,500	(2019.10~2022.3)	
		75,000	(2016.10~2019.9)	
フッ素 および 有機化学融合 材料・生命科学講座	AGC(株)	105,000	2020.4~2023.3	化学生命工学
		105,000	(2017.4~2020.3)	
次世代モビリティの要素 技術の探索	トヨタ自動車(株)	150,000	2020.7~2023.6	機械工学
		150,000	(2017.7~2020.6)	
道徳感情数理工学講座	ソフトバンクロボティクスグループ(株)、 tenrai(株)、(株)原田武夫国際戦略情報研究所	131,250	2022.9~2025.8	バイオ エンジニアリング
		200,000	2017.9~2022.8	
次世代の信号・電力伝達 技術の創成	古河電気工業(株)	125,000	2021.2~2024.3	人工物
		120,000	(2018.2~2021.1)	
次世代医用放射線イメージング	デルタ電子(株)	195,000	2018.4~2023.3	バイオ エンジニアリング
次世代運用テクノロジー	(株)大和証券グループ本社、大和証券(株)、 大和アセットマネジメント(株)、(株)大和総 研ホールディングス	78,000	2021.4~2024.3	システム 創成学
		78,000	(2018.4~2021.3)	
リスク俯瞰工学講座	一般財団法人 電力中央研究所	150,000	2018.4~2023.3	原子力
スカイフロンティア社会連携 講座	ヤマハ発動機(株)、(株)日立製作所、楽天(株)、 (一財)日本海事協会、ブルーイノベーション (株)、日本化薬(株)、(株)丸和運輸機関	108,500	2021.9~2023.3	航空宇宙工学
		87,500	2018.10~2021.9	
インフラ材料・構造の次世代 性能評価技術の開発	清水建設(株)、鹿島建設(株)、前田建設工業(株)、 三井住友建設(株)、(株)コムスエンジニアリ ング、東日本旅客鉄道(株)、一般財団法人 首都高速道路技術センター	189,000	2022.4~2025.3	社会基盤学
		189,000	(2019.4~2022.3)	
創造設計とスタートアップの 実践	ソニー(株)	60,000	2022.4~2025.3	機械工学
		60,000	(2019.4~2022.3)	
統合廃炉工学講座	日立GEニュークリア・エナジー(株)、東 芝エネルギーシステムズ(株)、三菱重工業 (株)、東京電力ホールディングス(株)	108,000	2022.4~2025.3	原子力
		108,000	(2019.4~2022.3)	
規則性多孔体の革新的合成 プロセスの構築	東ソー(株)	75,000	2022.6~2025.5	化学 システム工学
		65,000	(2019.6~2022.5)	
デジタルバイオ分析	凸版印刷(株)	250,000	2019.6~2024.3	応用化学
次世代都市 - 交通デザイン 研究体講座	(株)IHI、(株)エヌ・ティ・ティ・データ、清 水建設(株)、東京ガス用地開発(株)、(株)日本 総合研究所、日本電気(株)、(株)日立製作所、 三井不動産(株)、三菱地所(株)	90,000	2019.6~2022.6	社会基盤学
音声病態分析工学	MS&AD インシュアランスグループホール ディングス(株)、三井情報(株)	156,500	2019.9~2023.8	バイオ エンジニアリング

名称	連携機関名	経費総額	設置期間	設置専攻
次世代電子顕微鏡法	日本電子(株)	79,100	2020.4～2023.3	総合研究機構
テクノロジー・インフォマティクス	ダイキン工業(株)	278,337	2020.4～2024.3	技術経営戦略学
次世代エネルギーインフラの創成	電源開発(株)、清水建設(株)、東芝エネルギーシステムズ(株)、MHI ヴェスタスオプショアウィンドジャパン(株)、(一財)日本海事協会	225,000	2020.4～2023.3	社会基盤学
次世代農業機械の研究	(株)クボタ	105,000	2020.4～2023.3	機械工学
疼痛患者のQOL向上に関する研究	京セラ(株)	60,000	2020.4～2023.3	機械工学
サステナブルなヒューマンセントリック次世代ものづくり	トヨタ自動車(株)	444,450	2020.5～2023.4	人工物
ヒューマンモーション・データサイエンス	旭化成(株)、(株)ナックイメージテクノロジー、(株)Xenoma、(株)大武・ルート工業、(株)ユーフォリア	60,475	2020.6～2023.5	人工物
未来協創工学	(株)荏原製作所、本田技研工業(株)、(株)東芝	90,000	2020.6～2023.5	機械工学
次世代ジルコニア創出	東ソー(株)、(一社)ファインセラミックスセンター、(株)ワールドラボ	533,250	2020.7～2025.6	総合研究機構
革新的コーティング技術の創生	日本ペイントホールディングス(株)	1,100,000	2020.10～2025.9	総合研究機構
次世代空調技術の創成	ダイキン工業(株)	357,500	2020.11～2025.10	総合研究機構
統合分子構造解析講座	エーザイ(株)、小野薬品工業(株)、花王(株)、キリンホールディングス(株)、ジーエルサイエンス(株)、塩野義製薬(株)、(株)島津製作所、ダイキン工業(株)、(株)ダイセル、大日本住友製薬(株)、高砂香料工業(株)、(株)ツムラ、東ソー(株)、日産化学(株)、日本たばこ産業(株)、日本電子(株)、(株)三井化学分析センター、(株)リガク、Merck KGaA	280,000	2020.11～2023.10	応用化学
材料表面の原子層制御工学	ダイキン工業(株)	170,000	2021.1～2023.12	総合研究機構
ポリマー材料開発の次世代統合工学	ダイキン工業(株)	556,000	2021.4～2024.3	総合研究機構
個別化保健医療	ソフトバンク(株)、三菱UFJ信託銀行(株)、プルデンシャル・ホールディング・オブ・ジャパン(株)、H.U.グループホールディングス(株)、(株)日立ハイテク	375,000	2021.4～2024.3	バイオエンジニアリング
化学プラントのDX	ダイキン工業(株)	105,000	2021.4～2024.3	機械工学
次世代ものづくりアーキテクチャ	ダイキン工業(株)	377,557	2021.7～2026.6	人工物
Beyond 5G 価値共創講座	日本電気(株)	150,000	2021.12～2024.11	システム創成学
地方創生を加速する次世代ワイヤレス応用技術	東日本電信電話(株)	100,100	2022.1～2025.3	システム創成学
未来スマート社会研究講座	(株)KDDI 総合研究所	100,000	2022.1～2025.3	システム創成学
装身型生化学ラボシステム	本田技研工業(株)、凸版印刷(株)、三洋化成工業(株)	93,575	2022.1～2024.12	バイオエンジニアリング
革新的フレキシブルイメージャー社会連携講座	(株)ジャパンディスプレイ	150,000	2022.2～2025.1	電気系工学
スキンエレクトロニクス社会実装講座	パラマウントベッド(株)	150,000	2022.4～2027.3	電気系工学
サステナブルなまちの創生	(株)竹中工務店	78,000	2022.4～2025.3	都市工学
データ連成イノベーションリテラシー	(株)構造計画研究所、ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)、アビームコンサルティング(株)、(株)トラストアーキテクチャ	84,234	2022.4～2025.3	システム創成学
グローバル水循環社会連携講座	サントリーホールディングス(株)	120,000	2022.4～2025.3	社会基盤学
環境調和型エネルギーシステム	(株)堀場製作所	99,000	2022.4～2025.3	電気系工学
福島沿岸地域デザイン研究体講座	東日本高速道路(株)、日産自動車(株)	90,000	2022.4～2025.3	社会基盤学

(4) 国立研究開発法人連携講座一覧(2022.4.1現在)(単位:千円)

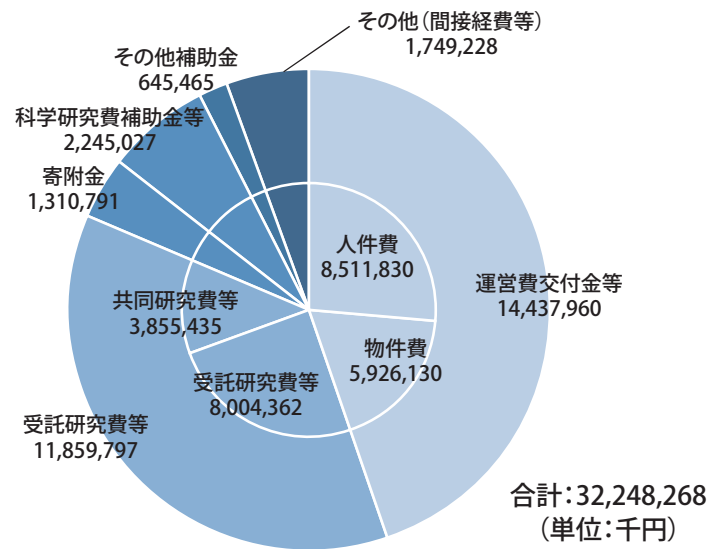
名称	連携機関名	経費総額	設置期間	設置専攻
創発物性科学	国立研究開発法人理化学研究所	420,000	2018.4～2025.3	量子相エレクトロニクス研究センター
		470,400	(2010.4～2018.3)	
フロンティア宇宙工学研究拠点	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	146,920	2019.11～2023.3	航空宇宙工学
原子力安全マネージメント学講座	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	84,000	2020.4～2023.3	原子力国際

8. 財政等

(1) 支出額 (単位：千円)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
運営費交付金等	10,487,377	10,970,287	14,437,960
人件費	8,226,952	8,018,532	8,511,830
物件費	2,260,425	2,951,755	5,926,130
受託研究費等	8,805,325	9,929,202	11,859,797
受託研究費等	5,777,888	6,582,239	8,004,362
共同研究費等	3,027,437	3,346,963	3,855,435
寄附金	1,307,985	1,123,996	1,310,791
科学研究費補助金等	2,554,559	2,167,847	2,245,027
その他補助金	584,059	1,022,371	645,465
その他（間接経費等）	1,147,237	1,608,946	1,749,228
計	24,886,542	26,822,649	32,248,268

2021年度 支出額



(2) 土地・建物面積 (2021.4現在)

区 分	本 郷	柏	東海 (原子力専攻)	柿岡 (柿岡教育研究施設)
所 在 地	文京区本郷 7-3-1	千葉県柏市柏の葉 5-1-5	茨城県那珂郡東海村白方白根 2-22	茨城県石岡市柿岡 414
敷 地 面 積	(約) 92,000 m ²	(約) 5,300 m ²	29,924 m ² (借入 26,621 m ²)	471,931 m ²
建 物	棟数	35 棟	2 棟	17 棟
	面積 (建て)	36,373 m ²	27,318 m ²	7,154 m ²
	面積 (延べ)	200,698 m ²	4,570 m ²	12,971 m ²

9. 広報・情報発信

(1) 刊行物一覧 (<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/foe/link/booklets>)



東京大学工学部ガイド (Innovator Next)

工学部の学科紹介を掲載しています。

配布対象：教養学部生（どなたでも購入可能です。）



学科ガイダンスブック

工学部希望の教養学部生向けの冊子です。

配布対象：教養学部生

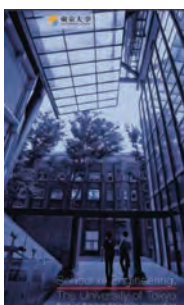


Ttime!

工学部学生が作成し、年2回発行している工学部の広報誌です。

配布対象：高校生、予備校生及び一般

URL: <https://www.t.u-tokyo.ac.jp/foe/public-relations/t-time?hsLang=ja>



School of Engineering, The University of Tokyo

留学生向けの入試関係の情報を簡潔にまとめた英文のリーフレットです。

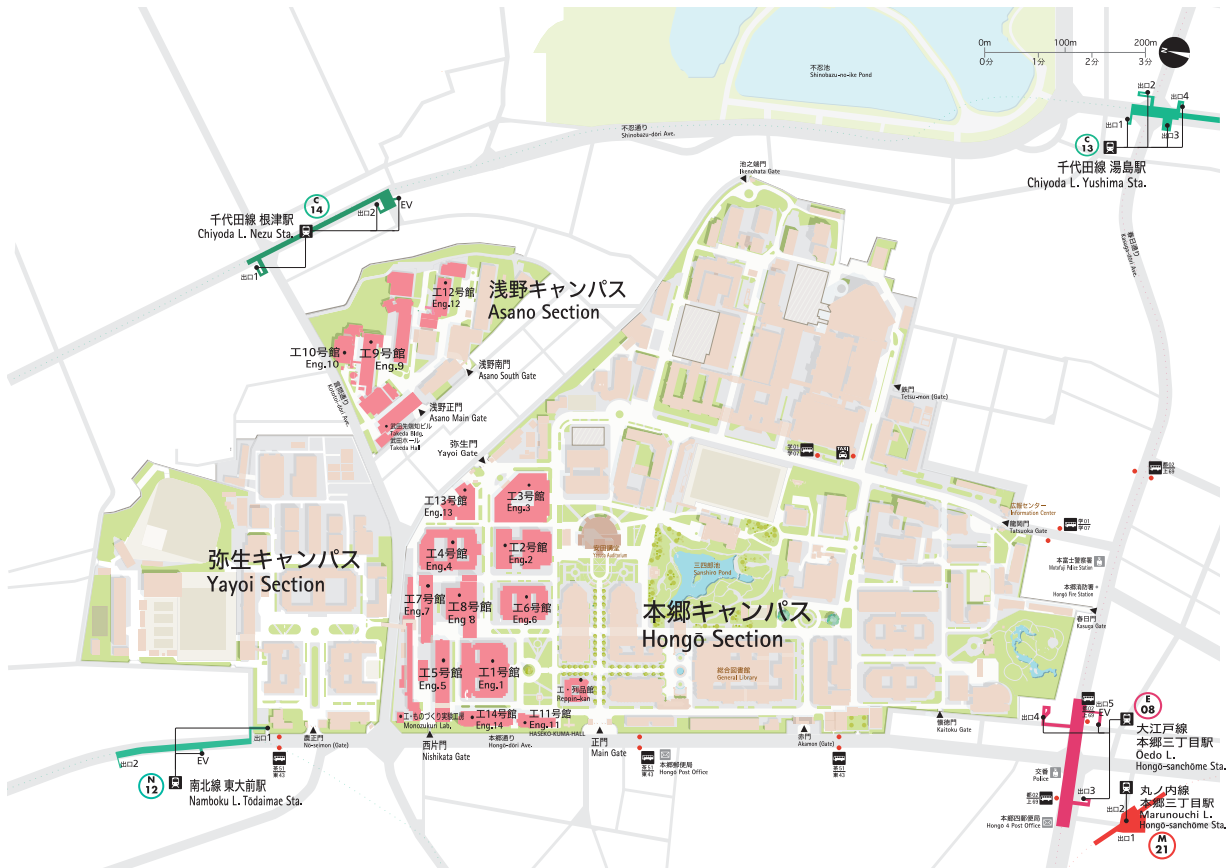
配布対象：本研究科への留学希望者

刊行物に関するお問い合わせ：広報室 (kouhou@pr.t.u-tokyo.ac.jp)

(2) 公式ホームページなど

工学部	https://www.t.u-tokyo.ac.jp/foe
英語ページ	https://www.t.u-tokyo.ac.jp/en/foe
工学系研究科	https://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe
英語ページ	https://www.t.u-tokyo.ac.jp/en/soe
公式Facebook	https://www.facebook.com/UTokyo.Eng
Twitter	https://twitter.com/eng_univ_tokyo
YouTube	https://www.youtube.com/channel/UCpdEaqyqZQK25Iy-oNIuUCA/

本郷キャンスマップ・アクセス



◆地下鉄利用

- 本郷三丁目駅（地下鉄丸ノ内線）徒歩10分
- 本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）徒歩10分
- 根津駅（地下鉄千代田線）徒歩5～10分
- 東大前駅（地下鉄南北線）徒歩10分

◆バス利用

- 御茶ノ水駅（JR中央線、総武線）
- 都バス茶51駒込駅、王子駅行又は東43荒川土手行 - 東大（赤門前、正門前、農学部前バス停）下車
- 学バス学07東大構内行 - 東大（龍岡門、病院前、構内バス停）下車
- 上野駅及び御徒町駅
- 都バス都02大塚行 - 湯島四丁目下車（御徒町駅のみ）
- 学バス学01東大構内行 - 東大（龍岡門、病院前、構内バス停）下車



東京大学
工学部
工学系研究科

2022概要